

チャプリンをめぐるて

258

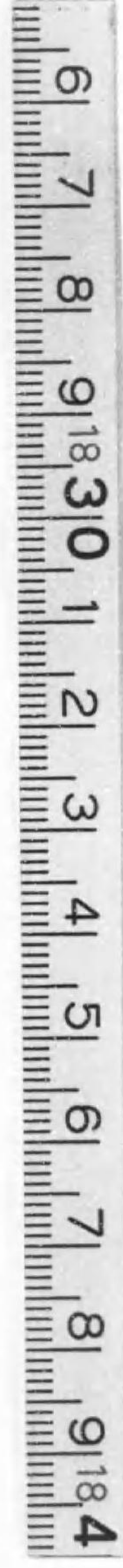
特214

504

映畫觀賞會著



時事新報社發行



始



特214  
504



東京名映畫觀賞會著

リンをめぐりて

時事新報社發行



日本へ！日本へ！



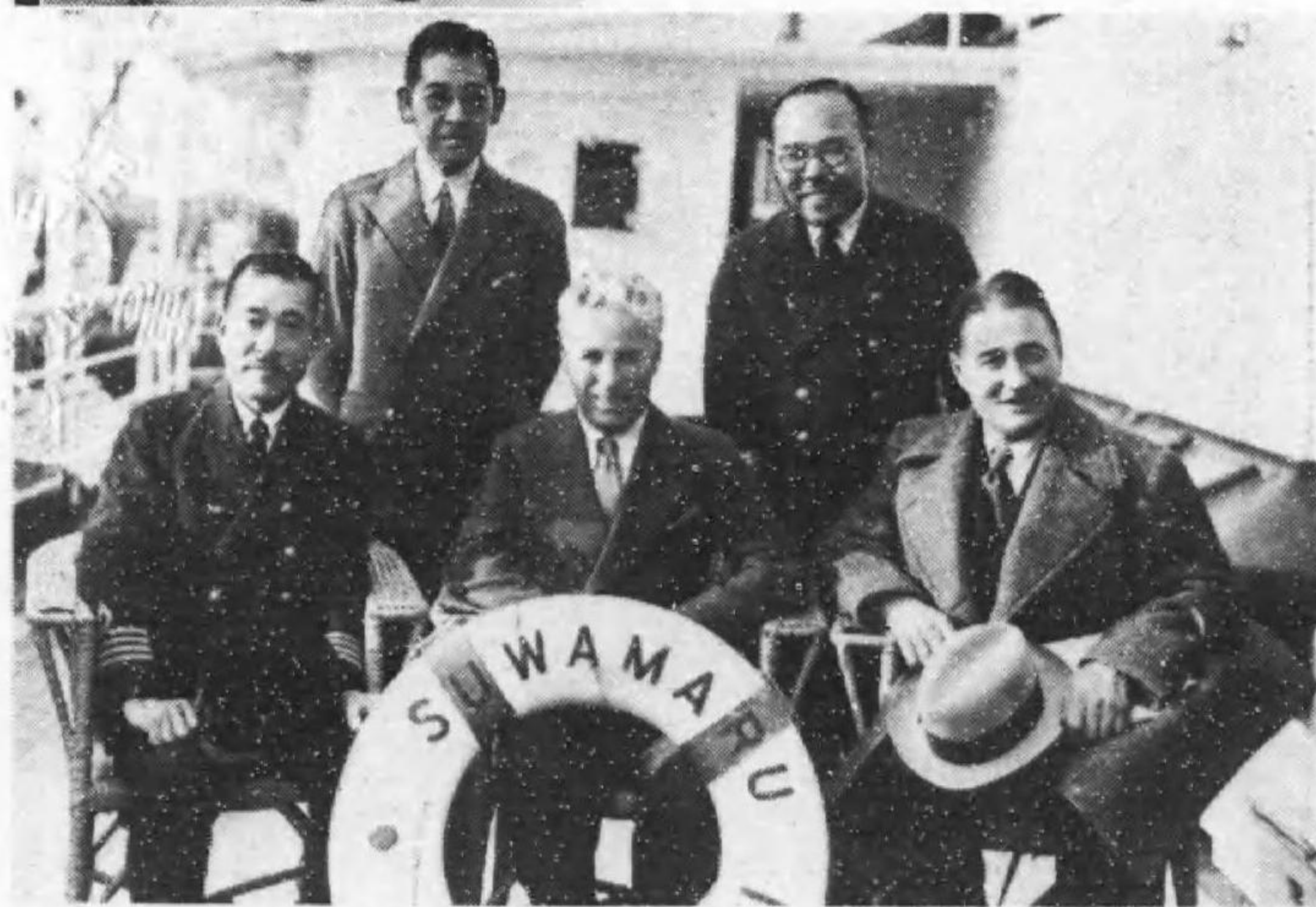
喜劇王の横顔



夢・ナポレオン



←或る日 ダグラスフェア・バンク  
メリイ・ピツクフォードと共に



諏訪丸にて——前列右 シドニー・チャプリン、チャーリー  
後列左 秘書高野虎市氏

彼をめぐる三人の女



第二の妻リタ・グレイと二兒



最初に結婚したミルドレッド・ハリス

十数年間一緒に働いた  
エドナ・バーヴィアンス

「黄金狂時代」 相手役ジョージア・ヘール



「街の灯」 相手役ウヰニア・チェリル

目次

チャプリン血と涙の生ひ立ち……………(一)

- プロローグ 悲しき誕生 父親の死 人生崇高な母の愛 孤兒の悲しき努力 氣の狂
- つた母を慕つて 遂に養育院へ 野心への第一歩 アメリカへ アメリカへ 一つの思
- ひ出 遂に映畫界へ キーストン映畫に於けるチャーリー グリフィスとマック・センネ
- ット最初の成功 週給百五十弗から一躍一千二百五十弗へ チャーリーの黄金時代 チャ
- ップリン争奪戰 新しき契約 素時らしき成功 ファーストナショナル社へ ユナイテ
- ッド・アーチスト社創立 何んに譬へん母の愛

悲しき戀愛……………(二)

- 戀の巡禮に 最初の結婚 悲劇の深淵へ 戀の鳥を探して 再び結婚の祭壇へ 悲し

きチャリーリの心情　ミルドレッドのチャリーリ観　六十萬弗の離婚訴訟　ひとりぼつち  
のチャリーリ　戀愛は生命である

チャリーリをめぐる人々……………(六)

パントマイムの王様　をんな　エドナ・バーヴィアンス　セネット時代の人々　「巴里の  
女性」以後　モンタ・ベルとスタンバーグ

「街の灯」の事ども……………A・ホエールリゲル…(七七)

チャリーリ、ストーリーを語る　變更された發端　チャリーリの大都會　チャリーリと盲  
ひの少女　浮浪者と百萬長者　チャリーリの職業　ハッピー・エンディング　最後のメー  
ルヒエン　何故發聲映畫を作らないか

チャプリン

血と涙の生立



アロローグ

歪んだ軒にデコボコのいしだたみ、一匹の野良犬が食物を探してうろついてゐる、  
 さらふれたとある裏街だ。其處へ、破けた、そして大きなハンチングを横ツちよに被  
 つた一人の少年が、物欲くさうな眼を彼方此方に配り乍らやつて来る。少年は、哀  
 れな孤兒だ。腹が減つてゐる。何か、食べる物が欲しい。まるで、野良犬のやうに貧  
 弱な姿だ。

皆様は、よもやチャップリンの名作「キッド」の、あの感激と感傷をお忘れではな  
 いだらう。チャリリは、この一篇に哀れな人生を描いたのだつた。誠に、思へば泪  
 多き人生の姿であつた。

あの映畫で、ジャツキイ・クウガンの扮した少年のいたいけな姿を思ひ出す時、我

々は、チャップリン自身の少年時代を、フツと思ひ出すのだ。空腹を抱いて泣き乍ら暖い愛を求めて裏街を彷徨つた「キッド」の少年、これは、取りも直さずチャップリンその人の、少年時代の眞實の姿に他ならないのである。それは、既に遠い過去の夢、ボンヤリイんだ遙かな思ひ出だ。この物語を繙かんがためには、皆様と一緒に、四十三年も昔の倫敦の街に溯らなければならぬ。

### 悲しき誕生父親の死

霧の深い或るひと夜、さうだ、一八八九年の、春も漸く深からんとする四月十六日チャップリンは数奇な運命を背負つて倫敦のとある郊外に生れたのだつた。彼の父親は英國人の歌唄ひで、母親は西班牙生れの踊子であつた。父親は、シドニイと云ふ、チャップリンより二つ年上の子供を連れて、彼女と結婚したのだつた。彼は良く酒を飲んだ。金があれば、場末の酒場でグデングデンに酔拂つて、彼の妻を泣か

せた。彼の青春は、酒神バツカスの祭壇の前に額いた儘、遂に頭を持上げる事が出来なかつた。不健康、そして貧困、それは、不幸に續く不幸のオーヴアラツブだつた。いくら彼の妻が、幸福を希つても、それは到底酬れない足搔きに過ぎなかつた。醜い口論が、夫婦の間で、幾度となく繰返された。チャップリンは、子供心に、どんなに悲しく思つたことか。彼は、酒を呪つた。酒がこの世になかつたら、決して父や母は喧嘩をしない、と斯う思つた。彼が今日、餘り酒を嗜まないのも、原因はこの一事にあるのだ。

### 父親の死

木枯の吹き荒ぶ、寂しい倫敦の夜だつた。チャップリンの父親は、酒のために半身不随になつた儘、妻や子供達に自分の意氣地なさを詫びつゝ、遂に息を引取つて了つた。やくざな父親は死んだ。然し、後に残された母子は哀れだつた。無性に淋しかつ



た。やくざとは云へ、大黒柱とも頼む父親がぼつくり死んで了つて、全く途方に暮れて了つた。

妻は、チャイリーの母親は、それから只管に働いた。彼女は、フロオレンス・ハアレイと云つて、ギルバート・サリヴァン一座のブリマドンナだつた。相當に人氣もあつた。然し、打ち續く不幸に、彼女の心は餘りにも疲れてゐた。いや、心ばかりではなかつた。その身體までが、今ではすつかり瘦せ衰へて、時々、舞臺に立つて踊り乍らも、倒れさうになるのだつた。それでも、彼女は健氣に働いた。愛しい二人の子供のために、夜遅く舞臺をはねてからも、賃仕事等に餘念がなかつた。彼女にとつて、二人の子供は、何物にも換え難い太陽だつたのだ。

### 人生崇高な母の愛

然し、不幸と云ふ奴は、何處まで意地悪か解らない。遂に彼女らは、母子三人の糊

口を凌ぐ糧である仕事までも奪はれるやうになつた。餘りの過勞のために、踊ることさへも出来なくなつたのである。

食べる物が無い。空腹が、三人の魂までも靴打つのだ。靴を穿いてゐるのは、母親だけだ。それもたつた一足の靴だつた。兄のシドニイは、その靴をつつかけて、野良犬のやうに教會へ行く。傳道館へ行く。其處では、貧しい者への施しのスープが貰へるからだ。目星しい家財道具はもうなかつた。借金の抵當に沒收されて、後に残つたのはたつた一枚の蒲團だけだ。母子三人は、この一枚の蒲團、家の中でたつた一つしかないこの財産にくるまつて、冷い夜を明すのだつた。子供たちは、何處か圓らかな夢をみる場所が欲しくて仕方がなかつた。

チャイリーは、時々、いつか母親から聞かされたシンデレラの夢を思ひ出した。そして、本當に夢でもいゝから、シンデレラのやうな境遇に置かれてみたいと思つた。

母親の身體は、益々衰弱する許りだつた。それでも彼女は、子供達に踊りを教へる

ことを忘れなかつた。最も、他に教へるものが何もなかつたからだ。亦、夜は子供達に物真似を見せて、強ひて笑はうと務めた。これも、他に子供達を娛しませるものになかつたからだ。

こんなに子供達を愛し續けた母親も、可哀さうに、遂には氣が狂つて了つた。そして、二人の愛兒を残した儘、施療病院へ運ばれて行つた。

### 孤兒の悲しき努力

孤兒が二人、霧の深い倫敦の裏街を、母を慕つて彷徨つた。今は、頼みとする母親はゐない。それでも、二人は食つて行かなければならない。だが、まだ幼いこの兄弟に、一體何が出来るかと云ふものか。

斯うして、「キッド」の中のクウガンのやうな哀れな生活が、チャップリンとシドニイの上によつて來たのだ。或る時は、公設市場へ行つて掃溜を漁る。そして、腐つた

ポテトを拾つて嚙つた。

亦或る時は、果物屋へ行つて、美味さうな果物を送り出す箱に填めるコルクの屑を貰ふ。それと、古箱を壊したポオル紙とで小さな玩具のポオトを作つて、肩に擔いで賣つて歩いた。一箇一片だ。

それから亦或る時は、街から街を流れて歩く手廻しオルガンの男の後をつける。ちつぽけなチャイリーは、手廻しオルガンの音に合わせて踊るのだ。まだ母親が自分達の傍にゐた時、よく教はつたあの踊りのステップだ。人がたかる。金を投げて呉れる。チャイリーはその金を持つて韋駄天の如く逃げるのだ。今までのいゝ氣だつた音楽師は驚いて追駈ける。だが、チャイリーの姿は、もう何處にも見えない。

### 氣の狂つた母を慕つて

子供にとつて、母の愛は絶對的である。だから、チャイリーが母親をいくら慕つた

からつて、ちつとも不思議ではない。彼はよく、施療病院を訪れた。身體の調子のいゝ時には、母と子は庭の木の下に坐る。其處で二人は、離れ離れの母と子は、積り積つた話をする。この時だけが、當時のチャイリーにとつては、滅法素晴らしい天國だつた。破けたポケットから南京豆を出して、チャイリーは一つ／＼丹念に噛み乍ら食べ、食へ乍ら語るのだ。だが、時間は何時までもこの母と子を引會してはあかない。話したいことは、まだ澤山残つてゐるのに――。母親は、

「風邪をひいや不可ないよ。亦来て頂戴ね。」

と云つて、いかつい建物の中へ重い足取りを運ぶのだ。その後姿をチツと凝視め乍ら、チャイリーの腫からは、熱い熱い涙が流れるのだ。彼は、その涙を拭かうともせず、振り返り／＼歸つて行く。悲しくて悲しくて、何んだかこの儘母親ともう逢へないのぢやあるまいかしら、と云ふ氣がして仕方がない。

### 遂に養育院へ

到々食へなくなつて了つた。それは、チャイリーが六歳の時だつた。その結果として、二人の孤兒は養育院へ投り込まれた。母親は、容態が良くなると、時々施療病院の方へ歸された。然し、養育院では、母と子とは引離されてゐるのだ。母親は婦人部に收容され、子供達は男子部に收容されてゐたからだ。同じ屋根の下に住み乍ら、母と子は幾月も會へないことがあつた。その上、容態が悪くなると、母親は再び施療病院へ連れ戻されるのだ。

チャイリーはこの哀しみを、決して忘れない。同じ家に、母であり子であり乍ら、なぜ暮すことが出来ないのか。一體、母と子を無慈悲に引離す力が誰にあるのか！「キツド」の後半を見給へ。子供が養育院へ連れて行かれやうとする時の、チャップリンのあの涙含ましい眞剣さを思ひ出し給へ。皆様は、よもやこれを見て、唯の喜劇

として取扱ひはしなかつた。この一場面にはチャップリン自身の、思へば三十年前の悲しい思ひ出が、くつきり餘りにも赤裸々に描かれてゐるのである。

三才の時、母親に抱かれて初舞臺に出たチャップリン、そして七才の時、木靴をはいて、母親に習つたジグ踊りを倫敦の舞臺で踊つた彼それからのチャーリーは、理髪店のポオイにもなつた。或ひは玩具工場の職人にもなつてみた。

兄のシドニイは、十六の時、アフリカ航路の汽船のポオイになつた。だからチャーリーは、病氣の母親の面倒を一人で見なければならなかつた。

彼は、芝居の俳優にならうと思つた。そのため、總ゆる劇場の事務所を訪れた。そして一生懸命になつて使つて貰ふやうに試みた。

### 野心への第一歩

「機會」が、彼にチャールス・フロオマン一座の下廻りの仕事を投げ與へた。彼はその一座で、「シヤアロック・ホームズ」のピリイ少年の役等を演じた。

その後、十七才の時、彼は無言喜劇の一座として知られてゐたフレデリック・カルノー喜劇團に轉じた。この頃から、彼の一家にとつて、餘りにも峻厳苛酷過ぎた運命の神が、徐々に光明の手を差し延ばして來初めた。

笑ひの王様チャップリンは、既にこの一座の中から芽生えつゝあつたのだ。下積み生活が亦暫く續けられた。そのうち「寄席の一夜」の中で酔拂ひ紳士の役をふられて好評を博すやうになつた。

### アメリカへ アメリカへ！

十九才の時、彼は初めてアメリカの土を踏んだ。勿論、カルノー一座の旅興行であつた。その時、神ならぬ身の、後年アメリカを第二の故郷として、大チャップリンの

名を恣にしうとは、夢にも想像は出来なかつたであらう。誠に、人生うたゝ感慨無きを得ない。

その頃、汽船に乗込んでゐた兄のシドニーも、カルノー一座に加入するやうになつた。

兄弟はやつと、いくらか纏つた金を母親の許へ届けられるやうになつた。お蔭で母親は、惨めな生活難から救はれることが出来た。

斯くして、チャーリーが廿一才の時、二度目の渡米が企てられた。この渡米は、彼の今日の盛名を運命づける、最も大なるポイントとなつたのだつた。

旅興行は、思つたより成績が良かった。彼は、興行先きから母親への便りを書くことを決して忘れはしなかつた。見知らぬ國から國へ旅を続け乍ら、遂にテキサスへ来た時、彼の懐には千五百弗許りの貯蓄が出来てゐた。彼はその金を資本として、牧場を手に入れて養豚業を初めやうと計畫したこともあつた。若しこの時、支配人のリイ

ガス氏（現在、チャップリン撮影所の支配人をしてゐる人である）が反対しなかつたら、天才チャップリンも、今頃は徒らにテキサスの養豚業者として、世間からは顧られず暮してゐたのかも知れない。

チャップリン、今でこそ彼は、映畫界の覇者であり、王様である。全世界の人々はこの小軀に、負擔すぎる位の信頼と人氣を傾けて、彼の一舉手一投足にも神経質な眼を投げ掛けてゐる。

汚れた帽子、貧弱な上衣にダブ／＼のズボン、それに破けた家鴨靴と細いステッキ彼はいつも、スクリーンではチョビ髯を苦笑させて、悲しげな眼で人生を凝視めてゐる。

だが、人生は一つの奇蹟である。うらぶれた裏街を歩いては、貧しかつた自分の過去に涙するチャーリーだ。思ひ出は澤山あらう。盡きない思ひ出の泉が、いつ迄もチャーリーの心を引緊めて呉れるだらう。

## 一つの思ひ出

こんな思ひ出もある。

舞臺で、彼は劇輕なゼスチユアを一生懸命演じた。然し、お客さんはちつとも笑はなかつた。彼が一生懸命になればなる程、お客の表情は硬化つて行つた。

その夜更け、彼は芝居がはねてから、一人で街を歩いてゐた。

「糞面白くもない！」

と、最前舞臺監督が吐き出すやうに云つた言葉が、まだに彼の耳元でガン／＼鳴つてゐるやうだつた。彼の心は、鉛のやうに重かつた。

その時、彼の傍を、一人の醉漢がヒヨロめき乍ら歩いて行つた。彼は何んの氣なしにそれを見送つた。と思はず彼は、ハタと自分の膝を敲いた。その醉漢は、丁度現在彼がスクリキンの上で我々に見せてゐるのと同じ扮装をしてゐた。

翌日、彼は昨夜の醉漢の儘の扮装とゼスチユアとで、舞臺監督の前に立つた。彼の眼は、自信に輝いてゐた。果して、それは成功だつた。斯くして、現在のチャップリ

ンが、ほんの些細なキツカケから誕生したのである。

一九一三年、舗道の上に、まだ熱風が吹いてゐる晩夏、彼はその頃、プロオドウェイのハンマアスタイン劇場で、「倫敦俱樂部の一夜」と云ふ悲劇を演じてゐた。観客は、この變挺子な格好をしたちつぽけな男が、堪らなく可笑しかつた。まるで劇場そのものが笑つてゐるやうに、人氣を集めてゐた。その時、當時、紐育活動寫真會社の社長だつたアダム・ケツセル氏が、偶然、同劇場を訪れて來た。そして舞臺を見たのだ。

## 遂に映畫界へ

紐育活動寫真會社は、その頃映畫界を風靡してゐたキーストン喜劇の製作會社で

あつた。ケッセル氏は、スターであるフォード・スターリングからは始終給料の値上げを要求されるし、亦メーベル・ノーマンドは當時なかくの人氣だつたが、いゝ相手を早く見付けなければ何時迄この人氣が續くか解らないし、いろ／＼と惱み續けてゐた。で、チャップリンの姿を見た時、彼なら、きつとノーマンドの相手役として打つてつけど、と思つた。で、早速舞臺裏へ駆け込んで行つた。

だが、このちつぽけな男は、酷い倫敦訛りで、ケッセル氏の申出を斷つた。

「一週間七十五弗！」

ケッセル氏は執念深く彼を説き初めた。

成程、一週間七十五弗の給料は、當時のチャア・リーにとつて大金だつた。然し映畫に對して、何等の豫備知識もなければ、亦理解もない上に、唯一片の魅力さへも感じてはゐなかつたチャア・リーである。それに、彼はまだ自分の一座との契約完了までには、後三ヶ月も残つてゐた。だから、チャア・リーには、映畫界入りと云ふ一つの

冒險を、敢行するだけの勇氣がとてなかつた。

ケッセル氏は、百弗にまで、セリ上げたが、それに對してチャア・リーは「ウン」とも「スン」とも云はず、一座と共に、紐育を去つてフィラデルフィアのニクスン劇場へ移つた。

然し、ケッセル氏はそれでもチャア・リーを見離しはしなかつた。百弗が百五十弗にまで上つた。

斯くして、この年の十一月、ロサンゼルスのエムプレス座の興行を終えて、彼は遂に懐しい一座と別れるに至つた。彼の映畫入りが、遂に實現されたのである。ドタ靴にダブダブのズボンを抱えて、キイストーン撮影所の門をくぐつたのは、それから間もなくであつた。映畫界は、映畫の歴史は、既にこの時から革命への階梯を踏み初めたのだ。

## キーストン映畫に於けるチャイリー

扱て、キーストン撮影所に於ける彼の最初の出演は、一卷物の「小僧の自轉者競走」といふのだつた。彼は、舞臺に於けると同じ扮装と同じ身振り、カメラの前に立つた。

然し、不幸にして、今日の天才もこの處女出演では散々な失敗の憂目を嘗めなければならなかつた。

だが、カメラに馴れるに従つて、彼の持ち味は徐々に發揮されるやうになつた。人氣と云ふ奴が、澎湃として頭を擡げて來たのだ。然しこれは、チャイリー・チャップリンのその名よりも、山高帽と竹のステッキと、そしてダブ〜のズボン、破けたドタ靴の方が、有名になつて行つたかも知れない。

丁度この頃、D・W・グリフィスがミュウチュアル會社の總監督として任命された。

が、ミュウチュアル會社の一部であるキーストン喜劇を主宰するマツク・セネットは、グリフィスとは常に競争の立場にあつて、グリフィスの指揮を受けるを快しとせず、敢然として自己の主張を押し通してゐた。

## グリフィスとマツク・セネット

一九一四年の二月、グリフィスはロサンゼルスで、彼の名を一躍有名ならしめた「國民の創生」の製作意嚮を發表した。當時、大抵一卷か二巻もの許りだつたので、グリフィスが大作品を發表すると云ふニュースは、映畫界に素晴らしいセンセーションを捲き起した。で、マツク・セネットも負けてゐなかつた。彼は、當時としては破天荒な試みである六巻物の長篇喜劇「醜女の深情け」を、少し後れてその年の四月から撮り初めた。主役は、現在M・G・M社のスターである、當時舞臺の喜劇女優だつたマリイ・ドレスラアと、チャイリーであつた。



ドレスラアはこの映畫で配役の權利を興へられた。だから彼女は、チャイリーが偉くなつてからこんな事を云つてゐる。

「私は撮影所へ行つて相手役を物色しました。そしてやつと、その頃まだ餘り知られてゐなかつたチャイリーとメイベル・ノーマンドを發見したのです。私の撰擇が決して誤つてゐなかつたことを、皆様は認めて下さるでせう。チャップリンさんにしてもこれが本當の出世の緒口だつたのですからね。」

この映畫は、我が國でも大正六年の春封切された。これに於けるチャップリンは、前半では口髯の間があいてゐて、なんとも滑稽な顔をして出て來るが、後半には所謂チャップリン髯に成る、珍妙なものだつた。

### 最初の成功！

セネットはこの寫眞の撮影に十四週間を費した。果して、これは大成功だつた。チ

ャップリンの人氣は、ドレスラアを何處かへ吹消して了つて、益々高まつて行つた。當然この結果として、各會社の間で、彼の引抜き運動が露骨に開始され初めた。その中でも、エツサネイ社が特に猛烈だつた。

然し、機を見るに敏なチャップリンは、容易に契約を署名しやうとはしなかつた。當時のチャップリン映畫はどの位の相場だつたかと云ふと、製作者のケツセル氏は配給會社のミュウチュアル會社へ一呎十仙でボジを賣りつけてゐた。が、チャップリンの人氣が高まつて來たので、この値段を、一仙上げて十一仙にして呉れとミュウチュアル會社へ交渉したが、拒絶されて了つた。

一九一四年十一月の或る日、市俄古のエツサネイ本社では、一週千弗出せばチャップリンを引つて抜けさうだ、との電報をある運動員から受取つた。

週給百五十弗から一躍千二百五十弗へ

一週千弗、聴てこれが、一千二百五十弗と改められた。と同時に、エツサネイ社は一九一五年一月二日、堂々とチャップリンの入社を発表した。

エツサネイに於ける「チャップリンの第一回作品はチャールリーの新職業」であつた。これは。市俄古の同撮影所で撮影されたが、ミシガン湖を吹き渡つて来る寒風に恐れをなして、彼は撮影完了次第、麗らかなカリフォルニアへ歸つて来た。そして、第二回作品「夜遊び」以後、一年後に契約の終るまで、カリフォルニアのナイルスで撮影を續けた。ベン・タービンが、この頃からチャップリンの相手役として賣出し初めた。第三回作品は、傑作「チャップリンの拳闘」であつた。

エドナ・パウイアンスが、彼の最も良き相手役として契約されたのも、丁度この頃だつた。

### チャールリーの黄金時代

チャールリーが喜劇王としての地位を占めるに至つたのは、エツサネイ社時代であつた。彼の黄金時代が遂にやつて来たのだ。

當時、如何にチャップリンの映畫がアメリカ人の間に歓迎されてゐたかを知るのに最も相應しいこんな話がある。

紐育十五街にクリスタル・ホオルと云ふ映畫館があつた。この館は、一九一三年に彼のキイストン喜劇が封切されてから、十年後の一九二三年に火災を起して消滅してしまふまで、たつた一週間を除いて、完全に十年間毎週チャップリンの喜劇を反復上映した。上映しなかつた一週間のうち、四日間にはチャップリンを真似たビリイウエートの喜劇を試験的に掛けてみたが、トタンに不入りになつたため、慌て本物と取換えたとの事である。

で、ミユウチュアル社としても、チャップリンを是非とももう一度引戻して、新しい喜劇を作らせたいと、早速運動を開始した。

### チャップリン争奪戦

これを知つたエツサネイの方では、ナイルスの撮影所に幾人もの監視人を置いて、何人と雖も絶対にチャップリンとの面會を許可しなかつた。

ミュウチエアルからこのナイルスに特派された運動員は、カインスと云つて、抜けない男だつた。彼は、事務所を通じてチャップリンに會ふ事は到底不可能な事を知つて、ある日、カウボーイ姿に扮装してエキストラの群に混り、やつと撮影所の中へ這入ることに成功した。

斯うして、彼はチャップリンを捕へて直接談判を開始した。これは、ミュウチエアル社にとつて、非常に効果があつた。

應てチャールリーは、エツサネイ社から、契約期間一年の延期を懇願された。その契約によると、その一年間の利益配分を與へられ、少くとも五十萬弗の收入がある目算

だつた。

然し彼は、紐育の景氣を見て來てから返事をするに云ひ残して、紐育へ旅立つた。

そして紐育のホテル・プラザで、ミュウチエアル社の社長ジョン・アール・フリユウラア氏と會見した。

遂に彼は、一九一六年二月のある水曜日の晩、ホテル・アスターの一室でフリユウラア氏と假契約を交した。それによると、チャールリーは一年間、毎週土曜日一萬弗宛の給料を受取り、契約に署名するボーナスとして外に十五萬弗を受取ると言ふのだつた。そして即座に、五千弗の手附金が渡された。これによると、チャップリンはその一年間に六十七萬弗の收入を得る譯である。

### 新しき契約

翌日、四萬五千弗の小切手がチャップリンの手許に届けられた。そして二日の間、

ミュウチュアル社に於て契約書に署名した。

チャーリーの辯護士は、チャップリンが署名した原價六弗の万年筆を、記念のためと云ふ因縁をつけて、社長のフリユウラア氏に三十八弗で賣り付けたとの事である。それから後この万年筆は、社長の机の抽出に藏はれてゐて、ピリイ・バアクやその他のスターが契約に署名する時、この万年筆を使はせたさうだが、今はどうなつたことか、残念にもその後の消息は詳でない。

チャーリーはその日、ボオナスの残り十萬弗の小切手を受取つて、兄のシドニイと一緒に往來へ出た。そして、

「とに角、あと一仙も呉れなくても十五萬弗出來た。サア、新しいネクタイを一打ばかり買込むかナ。」

と、微笑んださうである。

それから數週の後、四月十六日に彼は二十七回目の誕生日を祝つた。

彼がミュウチュアル社の仕事を初めたのは、確か一九一六年の三月二十日だつた。

第一回作品は、彼が紐育滞在中ある百貨店のエスカレーターを見て感興を起し、それからヒントを得て書下した「The Floor Walker」だつた。次いで二卷宛十二本の喜劇を作つたが、僅か千五百呎のフィルムを撮るのに十二萬呎のネガを費したりして、持ち前の凝り性を發揮し初めた。そのため、豫定の一年間に作り切れず、十八箇月もかゝつて了つた。

### 素晴らしき成功!

このシリーズの中では、「Easy Street」が最傑作だと云はれてゐる。

これ等の製作費は、彼の給料を入れて一本平均十萬餘弗を要した。この額は、當時の五、六卷もの、特作品の製作費と殆んど同額だつた。然し、こんなにふんだんに金をかけ乍らも、この十二本の映畫が稼いだ金額は、ざつと五百萬弗に達してゐる。こ

これは常設館から貸附金としてミュウチュアル社に入つた金で、観客の負擔は二千五百萬弗に及ぶと云はれてゐる。かの、グリフェイスの最大作品「國民の創生」の稼ぎ高の約二倍に相當するものだ。

一九一四年の四月、丁度チャップリンがミュウチュアル社のために最後の作品を製作しつゝある時、ファースト・ナショナル社が創立された。

ファースト・ナショナル社が第一に着手した事は、チャップリンと契約する事だつた。ミュウチュアル社は、もう一年契約すれば十二本の二巻物に對して百萬弗支拂ふ旨提議した。それに對してナショナル社は、八本の二巻物に對して百七萬五千弗のオツプアーをした。彼は熟慮の結果、ファーストナショナル社と契約した。

### ファーストナショナル社へ――

チャップリン喜劇は、二巻物から長尺ものに移つた。その最大なのが「キッド」

である。「キッド」が愈々試寫された時、ファースト・ナショナル社の幹部はその素晴らしさに驚喜したとの事だ。そして、チャップリンとの最初の契約を破棄し、新しい契約が締結された。これ一本で、チャーリーは百萬弗以上の収入を得る事になつた。面白い事には、「キッド」が完成した頃チャーリーの第一の離婚事件が進行してゐた事である。即ち、ミルドレッド・ハリスとの離婚訴訟問題だ。

ミルドレッドの辯護士達は、扶養料の抵當として「キッド」のネガティヴを差押へやうとした。チャーリーはネガティヴを携へて紐育へ來たが、相手の辯護士は彼とネガティヴを探してホテルからホテルへ、執念深く追廻して來た。

遂に彼は宣傳部長と一緒にネガティヴを持つて逃げも逃げたり、紐育から數千哩も離れたユタ州の或る町へ隠れた。ユタでは州法によつて一切の差押えを禁じてゐた。初めてチャーリーは安堵の溜息をついて、そのネガティヴの編輯を初めたとの事である。

### ユナイテッド・アーチスツ社創立

一九一九年、彼はグリフィス、ダグラス・フェアバンクス、メリー・ピックフォードの三人と同盟してユナイテッド・アーチスツ映画會社を創立し、遂に獨立した。

「アウイマン」や「黄金狂時代」、そして「サアカス」、更に「街の灯」——この輝やかしい足跡を見給へ。一九一三年には、ニッケル・オデオンに上映されるドタバタ喜劇のスターに過ぎなかつた彼チャップリンが、今では世界の檜舞臺に立つてゐるではないか。

彼の母親は、彼を王者の如く尊敬し「キング」とさへ呼んでゐた。その母親も、六十幾歳の春、美しい花園に囲まれたカリフォルニアの邸宅で、幸福な晩年の幕を閉ぢた。

「母は私よりも遙かに偉い人だつた。偉い女優だつた。私は母のやうに立派な女優を見たことがない。母は私に、持つてゐるもの、總べてを興へて呉れた。そして、何一つ返してくれとは云はなかつた。それなのに、私は母の苦勞を少しも軽くしてやることが出来なかつた——」

### 何んに譬へん母の愛

彼は、母に就いて斯う語つてゐる。そして、更に語を續けて、

「たゞ母の愛のみが人生の淋しさを救つてくれる。最後のもの、それは母の愛である。

私達は、このチャリーリーの言葉で、如何に彼が母を愛し、母に感謝してゐるか、十分に知ることが出来る。チャリーリーの母こそ、草葉の蔭で、どんなに喜んでゐることであらう。

今こそ彼は、功成り名遂げて、榮光ある生活を續けてゐる。然し、日一日と増えて

行く彼の白髪を思ひ泛べ乍ら、これ迄に彼の歩んで来た足跡を辿つてみる時、其處には努力があり、良心があつた。そして、貴い血と涙があつた。

「民衆は私の最も親しき友達である。」

と、彼は語る。誠に、彼チャールズ・スペンサー・チャブリンこそ、映畫界の持つ唯一つのスフィックスに他ならない。

## 悲しき戀愛

## 戀の巡禮に

(哀しき戀の闘士)

戀愛が夢であるとすれば、結婚は正に目覺時計である。

と、彼チャプリンは云つてゐる。

彼は、幾度となく戀をした。二度の結婚をした。戀は、彼にとつて生活の情熱であつたが、結婚は餘りにも冷い生活の屍に過ぎなかつた。彼を廻つて、幾多の明眸の女性が、宛然ファイルムのそののやうに、燃ゆる如き緋の愛慾史を織りなして行つた。美しい女性を見ると、彼は戀をしないではゐられない。まづ最初に、彼の前に現れた女性はメーベル・ノーマンドであつた。キイストン喜劇のスターとして、彼と一緒に銀幕で戀を囁いたこともある美はしき乙女だ。然し、彼は結局、哀しき戀の闘士に過ぎなかつた。



一九一五年の、春も漸く酷ならんとする頃、彼はあるダンス・パーティーで純情無垢なブロードの娘に紹介された。

華やかな圓舞曲——女達の夜會服の白絹の裾が、夢のやうに綾なして、この現實に五彩の花を咲かせて舞つてゐる甘い宵だつた。このブロードの娘は、その名をエドナ・パーヴァイアンスと云つた。二人は、踊り乍ら様々な事を語り合つた。エドナが、ネバダのラヴロックで働く鑛山技師を父に持つてゐること、そして現在、彼女はゴオルデン・ゲートで速記術を習つてゐること、尙將來は、職業婦人として自活してゆくこと

運命の糸は、斯うして一人の男性と一人の女性を、妖しい魅力で結びつけた。

いつしか春が過ぎて、縁の夏がカリフォルニアの豊かな大自然をふつくらと包む頃エドナは、職業婦人の夢を捨て、チャイリーの相手役としてキヤメラの前に立つてゐた。

聽て彼女は、チャイリーにとつてなくてはならぬ人となつて了つた。それは、映畫の上だけでなく、實生活に於いてでもあつた。

チャイリーとエドナ——この二人を繞つて、「戀愛」そして「結婚」等々の、ゴシップとスキヤンダルが、漆黒の闇に打上げられる花火のやうに、アメリカの、更に全世界のフアンの間には絢爛として咲き出た。

然しそれなのに、悲しきは人の子の運命である。人々は、チャイリーとエドナが當然結婚するものと信じてゐたのに、これは亦哀れにも果敢ないシヤボン玉の幻想に過ぎなかつた。

### 最初の結婚

(エドナの悲戀)

なぜなら、突如として、一九一八年、秋風も落莫たる十月二十三日、チャイリーが長い間の獨身生活にサヨナラをして、意外な女性との結婚式を挙げたからだ。

意外な女性とは、チャイリーの生涯を通じての最初の妻となつたミルドレッド・ハリスに他ならない。全世界のファンは、餘りにも突然なこのニュースに、唯々氣拔けの態であつた。然し、それにも増して哀れだつたのはエドナだつた。

愛してゐたチャイリー、そして、彼から愛されてゐたと信じてゐた自分だのに、なんと云ふ冷い現實であらう。彼女は、虔しい戀を抱いて、秋の夜を泣きに泣くのだつた。今はもう、呼べど歸らぬ夢である。甘く、そして樂しかつた彼との三年の交遊、思へば忘れられない泪だつた。

エドナは、斯うして、譬へばチャイリーが魂を打込んだ不朽の名作「巴里の女性」の、彼女の演じたヒロインの如く、哀れ果敢なき戀の骸をさらしたのである。然し、彼女は決してチャップリンを恨みはしなかつた。

扱て、幸福者ミルドレッド・ハリスは、當時十九才の春も開の乙女だつた。

この二人の結婚に就いて、當時の新聞はこんな事を書いてゐる。

「チャップリンは喜劇の王様である。然し、彼が髻をとつた素顔は、女性を如何ばかり惑はしたことだらう。だから、彼等の結婚が愈々確實になつた時、世界中の全女性は、この花嫁に對して激しい嫉妬を感じたに違ひない。だから、チャイリーを思つてゐる女性は、もう再び彼の剽輕な姿にも笑はないであらう。何故なら、餘りにも彼を笑ひ過ぎたため、彼の心を掴めなかつたからだ。」

ミルドレッドは、それまでトライアングル社にあつて、慘めな端役女優の役ばかり演じてゐた。後、同社の分裂と共にルイス・ウエバア夫人に招かれてユニヴァーサル社に入つたのが、十八才の時だつた。その頃「擔へ銃」の撮影を終へたチャイリーはこの美貌で有名な十九才の乙女に夢中になつた。

ある日、彼は自分のヨットに彼女の一家を招待した。そして、ヴァーガリアン島の風の凧いだ沖合で、彼女と婚約を交した。

## 悲劇の深淵へ

(ミルドレットとの破綻)

斯くして、翌年の六月、彼女は男の子を生んだ。然し不幸にも、その子は生後間もなく、この世を去つて了つた。

思へば、二人の悲劇はこの時から初まつたのだつた。愛兒の死後、蒼白い憂鬱が、チャイリーの額に、深い皺を刻んで行つた。

チャブリンは、家庭の人としては理想的な人物ではない。詩人であり、藝術家であり、何處かに偏執的なものを持つてゐるこの天才は、決して十九才のミルドレットを幸福にはしなかつた。

遂にミルドレットは、伯母と相談の上、チャブリンに離婚及び扶助料請求の訴訟を起した。

その時チャイリーは、名作「キッド」の撮影を終へた許りだつた。ミルドレットの

辯護士は、「キッド」のネガティブを差押へて、彼女の扶養料請求の理由とした。が、結局、二十萬弗の扶養料をミルドレットに支拂ふことによつて、この事件は解決した。

斯くして、チャブリンの結婚生活は僅か一年半で惨めにも潰えて了つた。

ミルドレットは、今はもう路傍の人であるが、あの當時のことを斯う語つてゐる。

「チャイリーは嫉妬やきです。結婚後、私が自分の友達を招きたいとつても許して呉れませんでした。男の友達は勿論のこと、女の友達と交際することさへも極端に嫌つてゐました。その癖チャイリーの方では、一日中私を置去りにしたり、時によると幾日も家をあけることがあります。

では、彼に私以外に女でもあるかと云ふに、さうでもありません。私達の結婚を破壊したのは、彼の天才です。彼の性格です。恐ろしいまでに孤獨を愛する彼の心です。決して他の女のためではありません。人生に於いて、彼の真に愛を注ぐものそれは、藝術、母に對する愛、それから子に對する愛です。

これは、チャイリィが家庭の人として失敗しなければならぬ三つの重大な原因である。自己中心主義——それが若しさう云へるのだとしたら、そのためにチャイリィは彼の結婚生活を不幸にしてゐる。

### 戀の鳥を探して

(彼をめぐる九人の女)

憂鬱な映畫詩人チャイリィに、孤獨な月日が味氣なく流れて過ぎた。

「私はもう生涯結婚しない。」

とさへ云つた彼、だが、結婚が目覺時計であるとすれば、戀愛は夢だ。夢は、いくら見たつて構はない。

癡て、獨身の彼の前に、幾多の女性が走馬燈のやうに現れて消えた。

エリナー・ポードマン——淑かで、賢い女だつた。今は、キング・グイダーとの幸福な結婚生活に浸つてゐる。

メイ・コリンズ——紐育からやつて來た十七才の處女。一時は、あられもなく婚約の噂さへ持上つた。

クレア・ウインサア——ミルドレッド型の美しい女である。子供っぽいメイ・コリンズから女になりきつたクレアに彼の戀情が動いたが、彼女はバート・ライテルと結婚してしまつた。

クレア・シエリダン——英國人、一寸名を知られた作家で彫刻家、そして未亡人だ。チャップリン撮影所の食堂にあるチャップリンの半身像は、彼女が魂を打込んで作つたものである。

ライラ・リィ——チャイリィの好きさうな愛らしい女。が、肝心の彼女は、當時二枚目として全女性の憧憬の的だつた故ウォーレス・リィドに夢中だつた。

アンナ・Q・ニルソン——瑞典生れの女、儂ない一時の語らひに過ぎなかつた。

エステル・タイラア——カルメンを思はせる情熱の女である。火のやうな情話もあ

つた。その後、彼女はジャック・デムブシイと結婚したが、最近別れて了つた。ベツギイ・ジョイス——「巴里の女性」のヒントは彼女によつて齎された。との話もある。チャトリイと気があつて、良く色々な話に耽つたものだつた。交りも亦深かつたやうである。

ポオラ・ネグリ——波蘭生れの、野性の蘭を思はせる美貌の持ち主。こんな愉快な話がある。チャトリイが最初ポオラに逢つた時、その美に魅せられて、獨逸語の達者な傍の友人に「とても貴女は美しい。」と云ふ意味の獨逸語を教はつた。そして、教はつた儘をポオラに云つた。處が、ポオラはすつかり面喰つちまつて、まぢ／＼とチャトリイの顔を凝視した。傍の者がドツと笑つた。理由を訊けば、悪戯な友人が、「貴女と寝たい」といふ獨逸語を教へたとの事だ。

これは、チャトリイが伯林に、遊んだ時の話である。その後、ポオラは、チャトリイの後を追ふやうにしてアメリカに渡つた。そしてパラマウントのスターとなつた。

が、チャトリイとの交遊いくばくもなくして、彼女は故ルドルフ・ヴァレンチノと艶名を謳はれるやうになつた。

——チャトリイは、これ等の女の總べてと關係があつたかも知れない。或ひは亦、これ等の總べての女と關係がなかつたのかも知れない。何處までが眞實であり、何處までが嘘であるか、これは本人ならでは知る由もない。が、ゴシップとスキヤンダルの猾い眼は、決して彼を、いつ迄も書齋の哲人として幽閉しておきはしなかつた。

### 再び結婚の祭壇へ

(リタ・グレイとの艶名)

此處に、ジャアナリズムは再び彼を結婚の祭壇にまで登場させた。

あの有名なリタ・グレイとの艶名だ。そして結婚だ。

「私はもう生涯結婚しない。」

と云つた彼であるが、一九二三年も逝かんとする降誕祭の宵、チャトリイとリタと

の間に、第二の祝典が擧げられたのである。リタはカリフォルニア洲前知事として名のあつた故ヘンリー・ゲイヂを曾祖父に持つた。十八才の乙女だつた。

随分以前の話だ。リタがまだ小學校へ通つてゐる頃、ある日、友達の少女と一緒にチャーリーの撮影を見に撮影所へ現れたことがある。その時、彼女の幼い瞳に、彼の剽軽な姿が、どんな印象となつて残つたことだらうか。その後彼は「キッド」の夢の場面で、天使の役をリタに與へたことがあつた。亦、最初彼女と一緒に撮影をみた一人の少女が、後年「サアカス」でチャーリーの相手役として拔擢されたマアナ・ケネデイであつたとは、神の惡戯とは云へ、面白い廻り合せではないか。

其の後「黄金狂時代」の撮影準備中、彼は母親に伴はれて訪れたリタに、暫く振りで會つた。驚いたことには、まだ子供だとはかり思つてゐたリタが、何時の間にか立派な女になつてゐた。チャーリーは、心の中で、「なんと美しい娘になつたものだらう。」と呟いたものである。

遂にチャーリーは、「黄金狂時代」の相手役に、リタを選んだ。

撮影は南カリフォルニアのロケイションから初められた。アラスカの雪に埋もれた金鑛地を目蒐けて集る人々の場面を、五百人以上のエキストラを使用して撮影した。このロケイションには、リタも一緒だつた。

扱て、ロケイションを済ませて歸つたチャーリーは、何故か仕事から手を引いてしまつた。撮影所の人々は、亦チャーリーの我が儘な癖が出た、位に思つてゐた。

處が、突如として、チャーリーがソノラの小さな港町ガイマスで、リタと結婚式を擧げたと云ふ事實が傳はつた。

亦もや、センセーションが、この二人を取巻いて捲き起つた。然し、チャーリーは案外濟ましたものだつた。

そのため「黄金狂時代」は、リタの代りにジヨオジア・ヘールが加へられ、折角撮つたロケイションは全部撮影仕直された。

チャーリーとリタの上に、甘い月日が、加洲の青空に匂ふオレンヂの香りのやうに  
たわやかに續けられた。

### 悲しきチャーリーの心情

(二度目の離婚)

一九二四年六月二十八日に、リタは男の子を生んだ。更に翌年の五月第二子が生れた。矢張男の子だつた。チャーリーはこの二人を、自分達兄弟の名をその儘、シドニイ・チャップリン、チャールス・チャップリン——と名付けた。

然し、この結婚生活も、結果はミルドレットの場合と同じであつた。

再び、チャーリーの、天才は狂人に近い、と云はれた性格が、頭を持上げて來た。

第二の悲劇が、澎湃として彼の周囲を取巻き初めた。

跳ねつかへりのこの小娘には、チャップリンの本當の人間性が、到底解らなかつた。喜劇俳優であるチャーリーは、もう少し面白い。そして氣樂な夫かと思つてゐた。

然し、現實はそうでなかつた。彼は家庭にあつては絶対専制のタイラントだつた。交際好きのリタは夜通し騒いで、遂にチャーリーから怒鳴られて了つた。彼女は、その夜からとうとうチャーリーの元へ歸つて來なかつた。

間もなくリタは、離婚訴訟を起した。背後には、リタの母が糸を引いてゐた。一説では、この離婚は、最初から計畫通りだつたとさへも云はれてゐる。チャーリーの氣持を怒らせて、リタを殴らせる位は、泣く赤ん坊をあやすよりもつと樂なことだ。チャーリーがリタを殴つた——で、たゞこれだけで離婚訴訟は結構成立するのだ。リタは、チャップリンは變態的な殘忍な男である、と申述べてゐる。

### ミルドレットのチャーリー観

(結婚の失敗は奈邊に?)

此處で、最初の妻だつたミルドレットの言葉を、もう少し借りてみよう。

「六年前の私は、一途にチャーリーを憎みました。私の受けた一生の不幸に對して、

復讐してやる積りでした。然し、今では私も色々経験を経ました。いくらか賢くなつたのでせう。私は再縁して、子供を儲けました。現在の私は幸福です。もうチャイリーを怨むなんて気持は少しもありません。彼は天才であります。天才である彼を、以前にも増して理解出来るやうになつたのです。空想、哀愁、ロマンスと詩——これが彼の世界の全部です。本當に、生活は彼に適してゐません。世間並の道徳と云つたものは、彼には通用しないのです。私はたゞ、チャイリーに對して激しい戀を感じただけで、チャイリーの本質がどんなものであるか、總べての男性といふものは、結婚後にも女性の望むやうな熱烈な愛を續けて行くものかどうかといふことを、一切知らずに結婚したのです。チャイリーが、異常な才能を持ち乍らも、しばしば不幸な家庭生活を暴露するのは、全く彼の天性によるものです。

彼は常に、愛と平和と、そして慰藉と幸福とを求めてゐます。けれども總べては彼の特異な性格のために壞されて行きます。彼は一人の妻にその全部を捧げるといふこ

とは出来ません。彼はたつた一人の妻の所有物になり切れないのです。彼は世界を所有してゐます。彼の妻となる人は、様々な苦痛を嘗めなければなりません。彼には世界中の賞讃と愛とが注がれます。けれども、彼の妻は何人からも注意されません。彼の行動に對して、妻は少しも口を挿はさむことを許されません。彼は動物的本能にかられる時があります。同時に亦、智的な慎重深い人でもあります。或る時は嵐のやうな慾望をもつて妻に臨みます。と思つたら、或る時は別人のやうに冷やかです。斯うした両面を持つ人の妻の苦しみは並大抵ではありません。

それに彼は、心の平静を保つことが出来ません。彼の心は絶えず、何かしら、沸騰してゐます。チャイリーは自分の独自の性格に従つて、自分だけの生命を展いて行くのが本當です。それに逆らへば、自分ばかりでなく、相手方を非常な不運に陥れま

す。稀にみる天才でありますが、夫としては重大な缺陷を持つてゐるといふのがチャイリーを説明する最も適切な言葉でせう。



更にミルドレットは、チャブリンと結婚したい希望を持つ人には、是非とも次の條件が必要である。と附加へてゐる。

「第一に美人であること。そして、若くてチャーミングであること。但し、餘り才走つてゐたり、餘り完成した性情の人ではいけません。そして實際的の女性であることが必要です。経済的な才能を備へてゐなければなりません。そして一度結婚したら、すつかり自分といふものを忘れて、機械のやうに働くといふ心得を持たねばなりません。彼の氣分を亂さないやうに、彼の不規則な生活に對して、何の不平等も漏さぬやうに、そして非常に嫉妬深い彼から、少しでも疑惑の眼を掛けられぬやうに、その他いろ／＼の注意を忘れてはなりません。

#### 六十萬弗の離婚訴訟

(哀れな結末)

扱て、チャーリーとリタの場合である。

一九二六年十二月にリタから提出された離婚訴訟は、明けて二七年一月十日、遂に全世界の人々を震撼させるやうな醜事件として明るみに出されて了つた。

丁度その頃、彼は「サアカス」の撮影を約三分の二終つてゐた。この事件のため、撮影は引延された。チャーリーの氣持はすつかり減入つて了つた。一時に、歳を十もとつたやうにしよげて行つた。

彼の全財産、そして撮影中の「サアカス」のセットまでが差押へられた。デマとゴシップとスキャンダルが、勝手な熱を吹いて、四方八方に飛び散つた。加奈陀では、「チャブリンのやうな不道德な男の映畫は、社會風教上から絶対に上映まかりならん」とまでいきまいた。

チャーリーは、ハリウッドを後に紐育に隠れた。

この離婚事件は、約八ヶ月の間、流石の米國でも、離婚史上未曾有の事件として、争ひに争はれた。そして遂に、六十萬弗の手切金と、月々四千弗の仕送りとを得て、

リタはチャールリーとの縁の糸を永遠に断つた。

### ひとりぼつちのチャールリー

(彼はどんな女性を好くか)

斯くして、再び孤獨の世界が彼を訪れた。日増しに白髪がふえて行く。さうだ、思へば彼も既に四十三だ。白髪——彼はそれを鏡に寫してみ乍ら、

「フン、僕はもう二度と若くなれないのだ」

と呟く、彼は白髪を染めやうともしない。

彼はひとりぼつちだ。ある時、お城のセットを見乍ら、傍のダグラスに云つたものだ。

「ダグ君、僕はこんなお城の中でたつた一人で住みたい。毎朝、新聞と牛乳が届く。そしたら、お堀の橋をあげちまふんだ。僕は一日中誰にも會はずに暮せるからね。」

だが、世間の人々は、決してチャールリーをひとりぼつちにしておきはしないだら

50

戀愛の巡禮者チャールリー、彼ほど女性の美に憧憬乍ら、何時も不幸な愛目をみてゐる男はない。若しその人の母親が立派な人だつた場合、男はいつも母親に似た女性を求めると云はれてゐる。チャプリンの求め得られない女性も、或ひは彼が尊敬し、そして愛し續けて來た母親に似た女性ではないだらうか。

彼は、自分の理想としてゐる女性に就いて、斯う語つてゐる。

一、僕と一緒にゐる時、彼女は決して他の男のことを褒めない。

一、他に約束の時間があつて、僕が彼女と別れなければならぬ時、彼女は僕を自惚れさせるに充分なだけの鋭い失望を示すが、だがその失望は僕を行くべき處に行かせない程には鋭くない。

一、彼女のダイヤの腕飾りは決して磨く必要がない。

一、彼女の肩はピカピカ光つたりしない。

- 一、彼女は逸樂の際に目を細めたりしない。
  - 一、彼女は日曜新聞をみんな（そして先づ漫畫の頁を）讀むが、讀んで了つたら、丁寧にたゝんでもとの通りにして置く。
  - 一、彼女はダンス・ミュージックの流行歌の文句を知らない。また、よく知つてゐたにしても踊り乍ら僕の耳に唄つてみせたりなどはしない。
  - 一、日中は少しばかりの eaudet と oilette を用ひるだけだが、寝る時には L'Heure Blanche をふんだんに身體に撒きちらす。
  - 一、僕は彼女に戀をしてゐるといふのでもないが、
  - 一、彼女の方は僕に首つたけだ。
- 以上箇條書きにして十、およそ、がつた名言だと思ふ。

### 戀愛は生命である

（もう再び結婚しないか）

エドナは、今だに獨身である。恐らくこれからも結婚はしないだらう。傷付いた心を抱いて、「巴里の女性」の場合の彼女のやうに、慎ましい戀の思ひ出を残して淋しい日を送つてゐる。彼女は未だにチャイリーを思つてゐる。疲れたチャイリーの心を慰めるのは、昔も今も變らないエドナの暖い愛である。

ミルドレットは、今では石油成金と結婚して、少くとも幸福な生活を送つてゐる。そしてリタは、そして彼と戀を叫いた幾多の女性は——

然し今になつて思ふ時、女は何時も藝術家よりも「男」を求めたものだつた。

「私はもう二度と結婚をしない積りだ。然し、私はすべての結婚を否定してゐるのではない。結婚によつて幸福とロマンスとを獲得した人々を、僕も數多く知つてゐる。たゞ私にとつては、さうでないだけだ。結婚は私の愛する女たちの姿を一變させて了ふ。そして私が幾度かの結婚によつて學び得たものは、生活のロマンスを恐れることだけだつた。」

と、チャプリンは自分の結婚に就いて語つてゐる。

ミルドレットとの結婚が破綻した時も、チャーリーは「もう再び結婚しない。」と云つた。が、聽てリタと結婚した。そして、今亦彼は「再び結婚しない。」と云ふ。

彼の戀愛が、いつまで続くか。それは測り知れないことだ。亦、いつまで戀愛が反復されやうが、そんなことは構はないではないか。彼の場合戀愛は生命である。それは墓場にまで付き纏ふに違ひない。

多端だつた彼の戀愛人生、私達はこゝに、彼の悲劇をみる。こゝにチャーリーの一つの本當の姿をみる。

チャーリーをめぐる人々

### パントマイムの王様

チャールス・スペンサー・チャブリン、當年四十四才、中老白髪の温顔だ。——人生の路なかばを既に踏み越えて、なすべき事をなし遂げた人間の氣易さがある、といふのは、この一二年「街の灯」を完成して、裕々ヨロツバの地に遊ぶ、彼の肖像を見てからそう思ふのだ。

嘗つて、トオキイと無聲映畫の岐路に立つてゐた時、又、數々の苦い戀愛事件の間に晒らされた時、チャールスの顔には、決して今日の安息がなかつた様な氣がする。チャールスは今休んでゐる、靜かに休んでゐる。永遠に續く休息であるか、立上る前の休息であるか、とまれチャールスは今休んでゐる。

彼は無聲映畫の王様だつた、パントマイムの王様だつた。——そして、今でも彼は

パントマイムの王座にゐる。にも拘らずパントマイム自身がスクリーンの上では埋没して了つてゐるのだ。チャイリー・スペンサー・チャプリンの名は、従つて一應「歴史」の上に輝いてゐるだけなのだ。

人は「歴史」の上の英雄としての彼を尊敬する、彼の過去に残された足跡は、今日も猶語り草として伝えられてゐる。——けれど、人は目の前に見る、當年四十四歳、白髪的好紳士だ。それつ切り。

山高帽にチヨビ髻、ドタ靴にダブ／＼のズボン——よしんば、僕等が、二年前に作られた「街の灯」を一九三二年の今日のスクリーンに見るとしても、アルコール先生以来のチャイリーは、既に傳説の人物なのだ。アレキサンドル大王の様に、歴史の上に君臨してゐる英雄なのだ。

チャイリーを、輕視してゐるのではない。過去二十年の間、チャールス・スペンサー・チャプリンのアメリカ映畫の上に、否、世界映畫界の上に、残した功績は餘り

に大き過ぎるのだ。あらゆる映畫はチャプリンに影響された。あらゆる映畫人はチャップリンなしに生れて來なかつた。今、チャイリーは休んでゐる、とは云へ、チャイリーの過去の足跡から、無数の映畫人が生れて來てゐる事實を誰が否定しよう。——チャイリーの影響を享けずに、すく／＼と生ひ育つた自信を持つ映畫人が一人だけであるであらうか！

### をんな

チャイリーは、その氣弱さから、幾多の女を愛したけれど、又、その氣弱さから、遂に女を愛し通すことが出來なかつた。エドナ・バーヴィアンス、ミルドレッド・ハリス、ポーラ・ネグリ、リタ・グレイ、ジョージア・ヘル、その他數多くの女が彼の生涯に登場して來る。女に對する彼の理想は決して安直なものではない。女らしい淑かさを持つた聰明な女——こんな女は、今日のアメリカにそんなに澤山ゐない筈である。

チャーリーは、きつと母の面影を胸に抱いてゐるに違ひない。ロンドンの寄席で働いてゐた美しい少女が、同じ職業の青年と戀をして、結婚して、お定り通りの貧乏だつた。それでも、女は伴せに生きる道を知つてゐた。夫への強い信頼と愛情だつた、二人の子供への愛もあつた、母は健氣に働いた。が、病身だつた夫は、チャーリーが、未だ父の顔をはつきりと覺へられない或る年の秋に、死んで了つたのだ。女の手一つで、二人の子供を育て、行かうとした母、——チャーリーは斯ういふ美しい母の肖像を、いつも胸に秘めてゐる。

それなのに、生長したチャーリーの前に出て来る女は、平凡なアメリカ娘のミルドレッド・ハリスや、蓮の葉なりタ・グレイや、彼女たちは、決して、夫の心を理解して呉れなかつた、チャーリーはいつも獨りぼつちだ。

### エドナ・バーヴィアンス

エドナ・バーヴィアンスは、消息を絶つて了つた。何處へ行つて了つたのだらう。「巴里の女性」の運命の女マリイ・サンクレールの様に、寂しい田舎路で、乳をしぼつてゐる彼女の姿を、僕はふと想像して見る事もある。女優としての華やかな境遇よりも、そういふ風情のふさわしい彼女なのだ。

エドナ・バーヴィアンスとチャーリーとの關係を、僕はこんな風に想像して見ることがある。——エドナは、チャーリーの理想に近い女性なのだ。が、彼女のチャーリーの前に現はれた時期が早かつた。この世の中の何處かに、もつと彼の理想に近い女がある筈だ。未だ、若かつたチャーリーは、そして、仕事に熱中した、やがて、エドナ・バーヴィアンスは、チャーリーの仕事の對象としてしか映らなくなつた。十年以上を、同じ撮影所で働いてゐる中に、戀愛とは違ふ、男と女の友情が芽生えて來た。「巴里の女性」は、彼女を喜劇女優から、一躍有能なる悲劇女優に仕立てる事に成功した。永い年月を一緒に働いて呉れた彼女の爲に、チャーリーは、もう一本の贈り物

をしようとした。「救ひを求むる人々」を作つたが、メトロ・ゴールドウインの商品映畫に依つて、眞向から、その藝術的意慾を粉碎されて來たジオセフ・フォン・スタンバグがメガフォンをとる。

その作品「かもめ」は、暗いスタンバグの宿命觀に貫かれる運命の劇なのである。漁村に美しく育まれた二人の姉妹の上に起つた悲劇——いけない事には、姉になつたエドナ・バヴイアンスの存在よりも、妹娘になつたイヴ・サザンの方が、くつきりと浮出して了つた。作品は、市場に出ず、エドナ・バヴイアンスは、チャリリーの最後の贈物を受けられずに、その儘映畫界を退いて了つたのである。

#### セネット時代の人々

フレット・カアノの一座から、映畫界へ跳び込んで來たチャールス・チャブリンの前に、若しマックス・セネットといふ男がゐなかつたら、チャリリーが今日の名聲

に到達する経路もさつと、變つたものになつてゐたに違ひない。無論、チャリリーだけの天才が其の儘埋れて了ふ様なことはないにしても、セネットの様な良き協力者を持たなかつたとしたら——。

チャリリーは、カアノ一座でバントマイムを得意としてゐた。映畫俳優チャブリンの母胎が茲で既に育まれて來たわけである。セネットは、劇場の大道具方出身で、チャブリンより一足早く映畫入りして、自らカメラの前に立つたりする傍ら監督として、喜劇映畫製作者としての一家をなしてゐたのである。——無教養で無雑作な男であつたからこそ普通の常識的映畫人の及びもつかない突調子な事を考へ出した。おどけた格好をした。フォード・スターリングや、ロスコー・アーバックルや、ベン・ターピンといふ手合が皿をぶち壊し、パイを投げ合つた。——景氣よく動的なものが取入れられる。

セネット自身は何等藝術的なものを意圖することなく、しかも、このセネットの創



始した形は、次第に完成され、アメリカの持つ「藝術」を生み出す機縁になつた。チャイリーも、この形を完成に導いた藝術家の一人だつた。優れた藝術家たちがゐた。次の時代の爲に、飛躍する人々が、その中から培養されて行つた。俳優として名を擧げた人々の他に、例へば、彼のエッサネー時代の大作「珍カルメン」で、密輸入者の役を演じたウエスレイ・ラッグルスはアメリカの映畫一九三一年度最大の大作「シマロン」によつて名をなした。

バラマウントで「好いて好かれて」等の氣の利いた小品を作つたグレゴリー・ラ、カヴ、「店晒しの天使」「喧嘩友達」發聲映畫になつてから「七日間の休暇」「街の紳士」等の佳作を發表したリチャード・ウォーレス、或ひは發聲映畫になつて殆んど振はなくなつたけれど「子の心親知らず」「夫婦圓滿哲學」「姫君に給仕」によつて、一時名聲を高めたアル・セント・クレアー、又。チャイリーの傑作「擔へ銃」を換骨胎體して器用に「彌次喜多從軍記」等を拵へたエドワード・スザラント等、何れも、チャ

イリーより、ずうつと遅れてゐるが、セネット喜劇を搖籃の地としてゐる人々である。

### 「巴里の女性」以後

が、前記の人々が、世に出で、名を擧げたのは、ずうつと後、つまり、チャップリンが「巴里の女性」を發表してから後のことである。——「巴里の女性」は、彼の作つた最初の眞面目な劇、といふに止まらず、映畫の形式に於て、試みられた最初の眞面目な劇といふ事が出来る。御承知の通り、この映畫にチャイリーは登場しない。女——たゞ一人の女をめぐつて、映畫は今までしばしばスクリーンの上に盛り上げられたメロドラマの様にコケ脅しな面貌をしない。

「巴里の女性」が、その後に来るアメリカ映畫の風貌を代えて了つたメロドラマだけが映畫ではないのである。悍猛な悪人も、可憐なヒロインと、勇敢なヒーロだけが、

スクリーンの上にのさばつて、いゝものではない。——「巴里の女性」に一足遅れて、製作されたエルンスト・ルビツチユの「結婚哲學」にさへ。その影響がくつきりと覗はれる。詳しく云へばチャプリンの拓いた道を、ルビツチユが、更に取つき易い、開放的なものにしたのではないか。前記のセント・クレアーの作つた「夫婦圓滿哲學」「姫君と給仕」、或ひは、チャリリー門下の異才であるモンタ・ベルの「連れ行く情火」「痴人哀樂」等には、その影響が著しい。

### モンタ・ベルとスタンドバアゲ

傳統的なアメリカの映畫に反抗して出来上つた「結婚哲學」「巴里の女性」——共に幾分虚無的な色彩を以つてゐる。そのニヒリズムの中から、都會人的ノスタルヂオと、ソフィスケーションが生れる。そのソフィスケーションの道をその儘に、更に都會的憂鬱の中に沈めて行つたのは、紐育の新聞記者であり、「巴里の女性」の助監督から、

跳び上つたモンタ・ベルである。ベルと共に「巴里の女性」でチャリリーを助けた男に、巴里仕込のハリイ・ダバデイ・ダラアがある。ダラアも、その後獨立して「婦人に御給仕」「巴里醉語」等の佳品を、これも充分ソフィステイケートな態度で作りに上げてゐる。チャリリーは、その都會人的メランコリックな心から、明るく暗く映る街の灯に對するノスタルヂオから、ベル、ダラア等のよき後進を指導し——發聲映畫として、最高の都會映畫を、ベルは「戀愛四重奏」ダラアは「踊子夫人」に、それら生み出す機縁になつたのであるが、——これらの弱い都會神經の持主たちに傳へる事の出来ないチャプリンの一面があつた。

チャップリンは、藝術家として、貧しい者は接近して行つたのではなく、貧しい者の間から出て來た藝術家だつた。勿論、彼が關心を持たなければならぬのは、貧しい人々だつた。貧しい人々、弱い人々、強いものに對する反抗と憤り。——マツクス・セネットのもとで、皿をこわしたり、パイを投げ合つたりしてゐた此の道化役者

に、いつかしら、そんな心が芽生えて来た。形の上に表現しなければならなくなつた。人道的社會主義者として、彼の行く道が開かれたのである。

が、彼はやはり、古い形の人道主義者だつたのである。それ以上に、貴族主義者だつたのである。貧しい人々に、同情を持つたり、共鳴したりすることは誰にでも出来る。だが、貧しい者の行く正しい道を見極め、その道を自ら、先頭に立つて案内してやる様なことは、チャイリイには出来なかつた。ジョオセフ・フォン・スタンバアグは、三千五百弗の費用で「救ひを求むる人々」を作り上げ。チャイリイの許に現はれた。

三千五百弗の僅小な費用が、一本の映畫を作り上げるといふ事より、チャイリイを驚ろかし、感心させた事は、この映畫の中で、カメラが忘れてゐる事柄が取上げられてゐるからだ。——汚物の漂ふ波止場だ、その汚物の中から生れ出た泥の子だ、淫賣窟だ。泥の子たちの太陽に向つて行く足取りだ。——チャイリイは、この映畫の中に、

スタンバアグといふ若い男の中に、嘗つて、自分自身が見失つたものの姿を見出したに違ひない。

チャイリイは、資本主義制度——その組織故に起つて来る色々な不正義を知つてゐる、だが、弱氣な彼は、「偽牧師」のラスト・シンの様に、アメリカとメキシコの國境を股いで、つまり地圖にない地點をこのこと歩いて行くより他の手段を知らない男なのだ。——スタンバアグよ、精々活潑に歩いて呉れ！ だからこそ、チャイリイは、百度スタンバアグを助けもしたのであるが、社會主義者になり切れない反抗兒の行くては、いつも同じだ。

チャイリイのつまづいた陥穽。同じものがスタンバアグを待ち受けてゐた唯心的なものへの逃避！——逃げてく世棄人の街モロッコまで逃げて、まごころだけで戀を語らふとするスタンバアグは、地圖にない地點を何處までもく逃げて行く嘗つての日のチャイリイ以上に弱い人間の姿ではなかつたらうか。憂鬱なスタンバアグ——道

化役者チャールリー以上に、彼の笑ひは蒼白い、彼の顔に生氣がなくなつて了つた。  
 チャールリーをめぐつて、人々はいつも蒼白い。彈力のない笑ひをする。チャールス・  
 チャプリンは、十字架上の道化役者だ。いつも人を笑はせ乍ら、現世紀人の惱みを一  
 人で背負つて、十字架の上に立つ。人々は、十字架の上に、再び自分自身の姿を見る  
 のである。

## 『街の灯』の事ども

— A・ホエルリーゲル

Dem græssten Filmschauspieler dieses Jahrhunderts, der jetzt hier aufenthält,  
 wird diese kleine Uebersetzung gewidmet——

(チャイリリー・チャプリンに就ては既に語らるべき一切が語られてしまつた。最早彼に就て語るべき何があらうか？ それなのに人々は猶チャイリリーを語る。これは何故であらうか？ 何かゞそこになければならぬ。彼はさうした何かを持つてゐるのだ。彼の如き『映畫作者』は未曾有である。チャイリリーの「人 格」は多く存在するであらう。だが彼の如き『映畫作者』は過去、現在、未來殆どその類を求むること不可能であらう。それは總ゆる意味に於て——。

簡単に多少無責任な言葉を以てすれば、彼は「套い」のである。だがチャイリリーがチャイリリーたる所以はこの「套さ」だ。彼はこの「套さ」の故に今日を獲たのであり、又その故に今日を失ふであらう。

閑話休題、本稿は「街の灯」を巡つて様々なるチャイリリーの顔を眺めた一ドイツ人のチャプリン観である。だがそれは結局一つの顔だつた。私達が能く識つてゐるあの顔だ。筆者は大新聞『ベルリナー・ターゲブラット』紙の映畫記者として、と言

ふよりは寧ろチャーリーの一親友として「街の灯」製作中聖林に滞在、親しく彼の日常に接し、彼と共に映畫を談り、又人間チャーリーをも深く觀察することの出来たアノルド・ホエルリーゲル。彼は「街の灯」の製作が終ると早速百頁足らずの一本を公けにした、それが本稿である。だが、これはその全譯ではない。原本には今日のわれわれにとつて多少共不必要と思はれる部分もあり、且つ可及的に短縮するために比較的興味ある部分だけを抜萃的に抄譯した。一人のユニークなわれわれの時代にとつて特に意味深い人間の藝術的表現として正しく、眞面目にこの映畫を執り上げてみやうと決心した——と著者はその序文に記してゐる。この翻譯が「街の灯」を鑑賞するに當つて、従つて又チャーリーその人を理解するに當つて何かの足しになるならば幸ひである。(以上譯者)

### チャーリー、ストーリーを語る

文筆業といふ商賣柄私は實に屢々話術の巧みな連中に出會はず、だがチャーリー・チャプリンのやうな話ぶりの出来る者は一人も居ない。彼は單にさうした傑れた身振師である許りでない。彼の顔、彼の手、彼の柔軟な體は彼の口が喋べることを一切次から次へと描いてゆく。豫め存在する物語を單に引用してくるのではなく、恰もその場で考へ出すかのやうだ。こんな風で屢々内氣に幾らか間を置きながら喋べる。だが次には定つて爆發が来る。彼は、瞬間興味を覺えると全くその瞬間に魅入られてしまつて、いゝ、いゝ、深入りしてゆくことが出来る。さういつた傑れた天性を持つてゐるのだ。そんな場合、彼にとつてはこの世にその話以外何も重要なものは存在しないのである。彼は頗るせきこんで喋べり始める「Yesyesyes! Nonono!」と言つた具合に或る一つの言葉を力を含めて繰返す。興奮が如何に強く彼を動かしてゐるかゞわかる。彼は恰度暴風雨に遇つた太洋のやうだ。太洋のやうに移り氣なこの男は従つて又次の瞬間その事柄に對する一切の興味を失つてしまふかも知れない。一寸見たところ、どうも取り

付く島もない、緩つくりと、放心したやうに喋べり、馬鹿丁寧になり、眼を外らし、若しかして風向きの悪い時には少々藪眺みになるかも知れない。だが却て又風向が直るとこの男の魂は再び波立つてくるのだ。

チャイリーは何か物語を聴かせるやうな場合には、屹度同時に身振りをつけて話す。彼は一夕私を誘つて、支那街の劇場にかゝつてゐる日本の芝居が素的にいゝから一緒に見にゆかうと誘つたのであつた。彼の大型の自動車で走つた長い途すがらチャイリーはその日本人俳優について語り始めた。その話振りたるや、疾走中の車内で彼方此方に身を躍らし私の持つてゐたステッキで以つて日本古來の剣戟を演つて見せ、さては日本語をもつて朗誦し始めたものである。それは尠共日本語的抑音のまことに巧みな真似であつた。

その後、日本人劇場の芝居が閉ねてからチャイリーは私にあの役者をどう思ふと訊ねた。「素晴らしい」けれど、貴方が彼のことを話した時の方がもつとく素晴しかつ

た！」と私は答へた。

X

X

當時聖林に在つて直接チャイリー・チャブリンの百パーセント科白付發聲映畫として映畫「街の灯」に接したことを私は自慢したい（それは未だ發聲映畫が殆ど現はれなかつた時分のことだが）。といふのは、私は映畫の總べての役を彼が演ずるのを觀たのである。彼は浮浪者になり、かと思ふと盲目の少女になり、百萬長者となり、かと思ふと情知らずのバトラーになるといふ具合に總べての役柄を演つてみせるのであつた。映畫になつた人物は總べて當時彼が話した通りであつた。彼は私の眼の前でそれ等の人物を創り出していつたのである。

浮浪者と百萬長者とそして盲目の少女の物語は當時未だ決してその最後のな、決定的型態を整へてゐたのではなかつた。チャイリーはこの映畫の爲に三年の歳月を費しその間、段々と筋は變更されて行つた。當時は恰も新來者、發聲映畫が映畫界を捲土

した年であつた。因よりチャリリーは他の有力な映畫人達の中に在つて獨り敢然として發聲映畫の前に降らなかつたのではあるが、それでも矢張彼の頭は始終發聲映畫の事で溢杯だつたらしい。彼が彼の最初の物語に加へた變更の大部分はそのことを物語つてゐると思ふ。

變更された發端

一九二八年春、私が聖林にチャリリー・チャブリンを訪ねた頃、彼は極めて眞面目なナポレオン映畫を作る意企で溢杯だつた。彼は時の經つのを忘れて私にこの意企に就て語つた位ひだ。だが『ナポレオン』は兎も角後廻しといふことになり『その前に早急』に他の映畫、即ち従來のチャブリン映畫『街の灯』を撮りたいといふわけであつた。

X

X

假令『街の灯』は兎も角もあの永い輝かしい一連の典型的チャブリン映畫をその儘踏習し、即ち『キッド』『黄金狂時代』『サーカス』への對照的作品となるわけであるとは言へ、チャブリンは然しこの映畫に於て彼の大映畫『ナポレオン』の爲の準備として役立つが如き或る實驗を試みたのであつた。『ナポレオン』を製作するといふ意企は、だが、彼の營業方面の助言者達へ彼等がこの意企を知つた時の愕きは一通りではなかつた)から再三、再四反對された、觀客はドタ靴を履かない、あの帽子を被らない、あのステッキを持たない彼等のチャリリーを觀ようとはしないであらう、故に異つたマスクで映畫に出ることの不可能なるは自明であるといふのであつた。

X

X

映畫『街の灯』の出だしはチャリリーが私にその素材の時分に話してくれたのに據ると出來上つた映畫とはまるで異つて始まる。彼の足、彼の實際の美事な恰好をした足は小意氣なエナメル靴を履く筈であり、彼は目も綾な制服意裳、オペレッタの近衛



兵服を着ける筈で、チャイリーは「ラブ・バレード」のモリス・シュバリエそっくりであつた。

美しい、浪漫的なオペレッタ風の女王様も亦現はれる。端麗な近衛兵の王子チャイリーは彼女の王座近く侍つてゐる。女王様の爲なら潔よく我が胸の血も流さう、彼はその顔に彼女の接吻を感じる――。

この時、勿論この悲しい浮浪者チャイリーは彼の餘りにも美し過ぎる夢から覺めるといふ次第、彼は昔ながらに貧しく、グロテスクにあの哀れなチャイリーの襤褸を纏ひ、大きな靴を履き、ガレージの中で自動車の車輪と車輪の間に寝そべつてゐる、この中で来る日も／＼車を洗つてゐなければならぬのであつた。彼の夢見てゐた接吻とは何んと犬が彼の顔を舐めたのであつた！

× × ×  
扱て出来上つた映畫のファスト・シーンではこの萬人に愛される浮浪者チャイリー

は異つた方法で目覺める。「その前に」早速にこの映畫を仕上げる積りだつたチャイリーはこの映畫の爲に三年の歳月を費してしまひ、そののみか、その間發聲映畫は聖林全土に這入り込んでしまつた。本格的發聲映畫の機構に全く壓倒されてしまつたチャイリー・チャプリンは新作品のファスト・シーンを彼のナポレオン映畫に對する一種の手調べたらしめるを斷念して一個の傑れた狂詩的發聲映畫を作り上げたのである。

× × ×  
ナポレオンのやうな軍服と劍を帯びる代りにファスト・シーンから又もや昔通りに不幸の堆積である。映畫に出てくる劍とは實に大理石像の劍だ。成程劍には相違ないが――然しながらナポレオン映畫への橋渡しとなるべき場面はこの新映畫のファスト・シーンには全然無い。

今や、既に發聲映畫とはすつかりお馴染となつてゐる。観客は、最初の場面で普通發聲映畫と少しも變らない映畫を観る。然し例のわけの判らぬ「Blablalabla」と

は一體何を言つてゐるのであるか薩張見當が附かない。だがそれは明らかに「そうら、俺にだつてやらうと思へば發聲機に嚙言位唸らせることはこの通り出来るんだ、唯些んな真似はやりたくないまでの事だ！」と言つてゐるに違ひない。  
扱てこの音が濟むと漸く再び靜かになり、昔ながらの無言映畫劇が始まるのである。

X

X

映畫の改められた第一巻目は非常に哀愁的であり、偶話的なよさに満ち又愉快でもあるのだが、それにも拘らずチャイリィが最初意企してゐた夢の場面が現はれてこないのは頗る残念だ。放浪者チャイリィが盲目の貧しい少女の手に優しく接吻し、又憂ひ氣に花を筆取る場面を持つこの映畫はその奥底にこのロマンティックな愛の夢を秘めてゐるには相違ないが、然しこの夢は物語に對する微妙な鍵であるのだが、がその鍵も出來上つた映畫には失くなつてしまつてゐる。

若し觀客がこの放浪者チャイリィの途方もない夢を觀せられてゐたならば恐らく盲目の少女との寢に騎士的な戀愛冒險を出來上つた映畫よりも一層能く理解したであらうに。

だが一方又、さうすると發聲映畫の流行に對する眞に機智的な揶揄を止めてしまはなければならぬ。斯うしてチャイリィは近年稀な傑れた無聲映畫を作つてゐる間にも常に發聲映畫に無關心であることは出來なかつたのである。

### チャイリィの大都會

チャイリィの大都會、それは倫敦だ、永久に倫敦なのだ。この大都會だけが彼の血脈を流れてゐるのだ、無理はない。彼は亞米利加に在つて追放者の如く生活してゐるのだから。

聖林に在つた當時チャイリィは新映畫「街の灯」は倫敦で撮られるであらうと言明

した。この大都會の灯（映畫の題目もこれに由来するのだが）はピカデリーの、ソホ  
 ーの灯であるわけであり、ストランドの・チープサイドの而してウエスト・エンドの  
 灯である筈であつた。ウエスト・エンドの灯を縫つて一人の食べ物にも碌にありつけない  
 いひ弱な男の兒が會つて何か知らず憧れの心に満されて歩いたのであらう。そして貧民  
 街の愁しい灯、彼はその貧民街の小徑で人と成つたのであつた。

この新チャプリン映畫の最初の部分は題名に應はしく夜の灯に耀いてゐる大都會の  
 パノラマシーンを展開してゐるがこれは倫敦のパノラマ場面ではない。又これに續い  
 て現はれる愉快なフラスト・シーンで放浪者チャプリンを彼がそこで睡つてゐた記念  
 碑から引摺り下ろす調査、これも亦亞米利加調査の皿状帽子を被つて居り倫敦調査の  
 兜帽を被つてゐるのではない。本来ならば當然歐羅巴で撮るべきであるのに残念なこ  
 とに亞米利加で映畫を撮影するチャプリンは聖林に倫敦の市街を建てることを斷念し

た。その理由は、彼にとつては遺憾ながら歐羅巴の觀客よりも常に重要である。彼の  
 亞米利加の觀客が若し「街の灯」の市街が急に歐羅巴風となり倫敦の如き外、觀を  
 呈してゐたならば、恐らくそれを奇異に感ずるであらうと懸念されたからである。彼  
 等はそれ許りでなく不當にもチャプリンを全然彼等のものだと思へてゐるのだ。彼は  
 亞米利加流の言廻しをするならば徹頭徹尾百パーセントの歐羅巴人なのだ、と言つて  
 悪ければ妙、共さう言つて差支へないのである。

だがチャプリンにとつては場所などは何處であらうと夫程重要ではないのである。  
 他の事柄は確然記憶してゐるが誰もチャプリン映畫の場面の場所を特に精確に想起す  
 る（恐らく「黄金狂時代」の或る種の風景場面を除くは）者は無いであらう。實際  
 チャプリンは市街場面などには全然と言つて良い位意を用ひない「街の灯」に於ける  
 が如く道路掃除夫を演ずるやうな場合、兎に角是非共市街が必要であり、又彼の友人

なる酔拂ひの百萬長者が彼を我が友よとばかり市街を散歩に連れ廻すやうな場合、怎うしても家屋の在ることが必要である——家屋があつて始めて自動車を乗りつけるといふことも出来るわけだから。市街や家屋の外、観、これはチャイリー・チャプリンにとつては寧ろどうでもよいのだ。單に大都會の頻繁な交通のある大通りで二、三の短い場面を演ずるために、全く本物通りの人の住めるやうな、大建築家の手になる市街場面を拵らへつけるといふやうな（最近物故した獨逸人監督ムルナウのやうに）ことはやらない。チャイリーの大都會が「紐育」のやうな外、観を呈してゐたであらうか？ だが彼にとつてはそれがどんなに觀えやうとそんなことは如何でもよいのだ。然しそれは孰れにせよ倫敦であることに變りはない。

彼の創造物、彼の形態、浮浪者チャイリーは亞米利加流の「ホボ」とは全然類似點を持つてゐない。と私は曾つて彼に言つたことがある、彼は微笑を以て私の言を肯定

した。亞米利加の國道をほつ、ほつ、き歩く向見ずの放浪者、鐵道線路の大膽な冒険者、要約すればジャック・ロンドンがわれわれに描いてみせた浮浪者ホボ、それは新鮮な大空の、そして廣漠なる西部の土地の産物である。天真瀾漫、有りの儘の彼等、彼等は亞米利加の曠野、沙漠地方によく見受けられる。だがチャップリンの放浪者チャイリー（われわれは偶々アラスカに於て金鑛を探す彼を見たとは言へ）は徹頭徹尾大都會の産物であつて決して鐵道線路の冒険者ではない。而して沙漠地方の如きは全然彼の嫌ふところである。あの山高帽、あのステッキの如きは實際眞物の放浪者の持物ではない。廣漠たる西部の太陽は未だ皆んな髯を蓄えて生白い題を焦したことはない、大都會の灯、それこそ彼の太陽であるのだ。そしてこの大都會とは倫敦のことなのだ。

英語の "shabby-genteel" と云ふ語が（これは各な紳士氣どりといふ程の意味）實に能く浮浪者チャイリーの外貌を言ひ盡してゐる。チャイリーが何處からこの衣裳を

持つて来たか、彼はあのモデルから籍りてきたのだ、いやこのモデルからだと言つて随分詮議立てされたものだがそんなことはまあ孰ちらでもよい、兎に角あいつは恰好の人間が今日猶倫敦市中にうようよ歩めてゐるのは事實だ。

春年の夏一度、私はハイドパーク附近、あの大道演説師や巡廻牧師のよく現はれる町角で一人の小柄な男が立つてゐるのを見かけたことがあるが、この男は見たところチャリー生き寫しであつた。唯彼よりは齡上であつた（私はこの情景をペルリーナーターゲブラットに書いたことがあるが）。牧師のやうにも見受けられるこの老人はあのチャリーの古典的な山高帽を被つて居り、貧乏臭いがどこか上品な服を着、ステッキの代りにどうも素晴らしく、巻きにした洋傘を持つてゐた。彼は恰度チャリーそつくり滑稽であり、憂鬱であり、又教養あるもの、如くであつた。私は一度ならずチャリー自身ではないか（實際彼は何をやるかわからないのだから）彼がああ古典的浮浪者のマスクで穩然と倫敦市中を徘徊き歩いてゐるのではないかと怎し

ても疑はれてならなかつたのであつた。

彼は然しさうではなかつた、彼は唯チャリーの形態が事實に於て倫敦人の生活から採られたものであることを證明したのであつた。

### チャリーと言ひの少女

世の最も美しい女達が聖林を直指して集つてくる。その中でも撰り抜き美人達がチャリー・チャプリンを夢見る。この映畫都市に於ける彼の一寸とした微笑はそれだけでもう名譽と幸福を興へるに充分だ。第五番街のブルジョア貴婦人は言はでものこと、王室の姫君やメーフェアの公爵婦人達をさえ彼はその私宅に饗應したのだ。だが人は憐れした彼の生活面からのみ彼の心の奥底に生きてゐる永遠の女性の型を付度してはならぬ。破綻の歎きに終つた幾人かの女達、今一つはこの滑稽な浮浪者をあのやうにも悲劇的に愛する術を知つてゐる彼の映畫に現はれる女達——彼女達は名

流の婦人達にはなく、寧ろ名もない、見素ぼらしい倫敦の街娘に似てゐるではないか。

あの餓えたる兒供役者、見素ぼらしい寄席藝人チャイリー・チャブリンが曾つて愛を告白し而も何等報ひることをしなかつた女達は寔にさうした女達であつたのだ。貴族のお姫様、金持の令嬢達、彼女等は一人として彼の慙うした氣持を癒し得ないのでなからうか、斯くて彼はさうした型の女性を求めずには居られぬ。常に、常に——

チャブリンの最も傑れた映畫「黄金狂時代」に出てくる女は冷酷であつた。何故に彼女はあの憐れなチャイリーに笑ひかけてやらなかつたのであらうか？ われわれは一人残らず、凡そこの世の者である程の者は笑つたのに——。孰らかと言へば極く平凡な少女、それがチャイリーにとつてはこの上なく好ましいのだ、この少女は成程ほんの僅か許り彼の相手になりはするが、やがて再び彼を笑殺する、こゝにわれわれは確然とチャイリー・チャブリンの傷付ける姿を見るのである。「サーカス」に於ては彼の

少女は未だしも彼に優しくする、唯いけないことには他の男を愛してゐる。何故といふに（と考へるとチャイリーの惱める胸は嗚咽する）怎うして慙んな案山子男を眞面目に愛することが出来よう。女は彼の優しい尊敬、彼の騎士的な心使ひに對しては確かに感謝してゐる。だがそれだけのことだ、彼はそれだのにあの残忍な曲馬團長の鞭から彼女を救ひ出してやつた——だが——。

だが、怎うして彼女は眞剣にこんな案山子男を愛することが出来よう？ チャイリーは自問する、矢張駄目だ、斯くてわれわれは、あの忘れ得ぬ場面、あのやうにも愛鬱に傷ける頻死のペンギン鳥のやうによろ／＼と畫面から姿を消す彼を見たのであつた。

怎うして彼が常に夢みてゐるあの少女が案山子のやうなチャイリーを、このグロテスクな存在を愛することが出来やう？ 忽然チャイリー・チャブリンはこの難問に對して妙案を考へ出したのであつた。

さうだ、彼女が盲目であつたら、而して盲目である限りは——彼女は愛することが出来る！

×  
×  
盲目の花賣娘、あの優しい少女は既にブルヴェルの「ボムベイ最後の日」の中に現はれてくる、ブルヴェルは孰れかと言へば架空的にこの人物を書いてゐると私は思ふ（花の撰釋や色取混ぜて花束を拵へるといふやうな仕事は元來盲目にとつて特に應はしい商賣だらうか？）だがチャップリン映畫の場合にあつてはこの人物は素晴らしい。

これならば、實にこれならばチャップリンを嗤ひ去ることはないであらう！  
彼女は彼の外形を見ないで唯彼の心を見る。それ故に彼は心から屹度彼女と共に幸福となる事も出来るに違ひない。そこで彼は敢然として起ち、英雄的に行動するに相違ない、ヘラクルスの再來、斯くすることによつてのみ不可能を可能に變へるのだ。手術の金も工面する——だがそれなのに、手術の後、目が癒つて彼女は彼を見、途端

に噴き出されるかも知れないのに！

盲目の少女を癒すこの有名な維納也の眼科醫（聖林では今尙名醫といへば總べて維納也に居るものと定めてゐる！）——彼は一體彼の醫術を以つて何を爲したのであらうか！

愚直單純なるチャップリン・チャップリンよ！

×  
×  
私にとつてこの映畫中最も美しい場面（ラスト・シーンの極く小部分を除いて）は、チャップリンが既に少女から心の友として許され、彼女の傍に坐り（非常に優しく）彼女が解からとする糸を手にしてゐる場面だ。即ち目の見えない憐れな少女はこの糸を解かずしてチャップリンのチョッキ（それ共スエーターであつたか）からほぐれてくる糸を手繰る場面、彼は一語も發しない、唯凝乎と坐つた儘だ、彼女はチャップリンの胸の邊りから段々ほぐれ出る糸を手繰り出し、手繰り出し、終ひにチャップリン

の胸即ち彼の下着を指に捲きつけてしまふ。——これは寔に現代の抒情詩人の特異な技巧によつてなされた世界藝術家中未だその比を見ないラブシーンである。

X

X

暗闇に隠れてロマンティックな戀人の愛を求めるロスタンのシラノが唯一つこの部分の挿話に實によく似通つてゐる。あの大きな鼻の持主シラノは他人の爲に求愛しなればならない、假令抑揚調は使はずとも映畫の浮浪者チャブリンとても同様、他人の爲にこの少女の愛を求める點では同じである。その他人とはチャブリンがこの盲目の少女を偽つて空想させた美男子で金持の騎士、即ち上等の自動車で乗り廻し、千弗小切手を幾程でも贈ることの出来るあの高貴な他人様のことなのだ。

根柢に於てこれは全く同じストーリーである、唯全然異つて物語られてゐるといふに過ぎなからう。

X

X

だが最後にチャブリンの盲目の女友達は百萬長者夫人となるわけではない、唯彼女は多少富裕となり、幸ひなことには彼女の兩眼は再び見えるやうになるのである。

本當を言へば嘗つて盲目であつたこの少女の物語はこの時からやつと始まると言つて宜からう。この時までの彼女は寧ろ、貴ばれ、同情され、慕はれ、少々許り幸福にされる客觀的存在であつたに過ぎない。今や見開いた兩眼には一體如何なる人間が映し出されてゆくのであらうか、それはわれわれには知る由もないのである。この盲目の少女は唯われわれの記憶の中にこよなく愛らしく、魅惑的に残るに過ぎない、ぼんやりと、柔らかに孰らかと言へば多少蒼ざめて——。

### 浮浪者と百萬長者

チャブリン・チャブリンが役の新映畫「街の灯」の最初のプランを建てた時には、彼自身の役、即ち浮浪者のそれよりも、寧ろ百萬長者の役の方が彼の心をより多く占



めて居たらしい。浮浪者の方は既に識り盡くしてゐる。だが百萬長者、これは實に彼の空想の新しい魅惑的な興味であつた。

聖林に在つた當時彼が私にこの映畫の筋を聴かせてくれた時、私は、この百萬長者の性格の中にも亦われわれのチャイリーの或る要素が含まれるであらうといふことが直ぐ氣付かれた。同時に私はこの話を聴いて、チャイリーがこの映畫の中で思ひ切つて百萬長者を演じ、誰か他の者が替つて浮浪者を演つてはどうかとしきりに思つてみたことであつた。それ共この兩役を共に彼が演つたら面白いだらうと思つた。何となれば、この二人は切つても切れない兄弟なのだから。

X

X

今は押しも押されぬチャイルス・S・チャプリン、彼が昔眞物の浮浪人であつたかどううか？これは頗る疑はしい。即ち、成程彼の幼年時代は全く逆境であつたのは事實だが、斷じて浮浪人ではなかつたのだ。だが、段々と彼が百萬長者に成り而して今日

竟ひに百萬長者に成つてゐることはこれ亦疑ひもない事實だ。何人と雖も俯仰天地に愧ぢない方法でもつて産を成し得た者などはないであらう。閑話休題。財産がある、彼は今や兎に角その富を持つてゐるのだ。この富を今捨てるには、過去に於いて餘りにも長い間貧しかつた。——私は想ふ、金を失くしてしまひ再び舊のやうに餓えるようなことがありはしないかといふ不安が何よりも先づ屢々彼を襲ふのではないかと——だが亦他の半面に於ては、これとは異なる、而してこれが本然の彼なのだ。——即ちこの辛苦の後に獲られた金が彼に恐怖的なものに思はれないまでも、屢々一つの桎梏、一つの何か罪を犯かしてゐるもの、如き感を抱かせるのではないだらうか——と彼は、總べての華やかな映畫スターのやるやうに、聖林郊外のビイヴァリー・ヒルに別莊を建てた。それは最も美しい、一番高いところに在る別莊だ。この別莊は四十の部室と魅惑的な庭園を持つてあり、この外部許りの見榮を張る紙細工のやうな建築の町に在つては、私の知つてゐる限りでは、唯一の眞に人格的な雅致多い邸宅であ

り、言はゞ眞に教養ある百萬長者の眞物の住宅である。然し、チャイリーは、聖林の誰れもが知つてゐるやうに、時々突然この住宅から逃げ出す、四十の部室のある邸で寝もうとはせず、何處かの安下宿に宿をとるのである。彼は成程百萬長者には違ひない、だが一皮剝くと放浪者が出てくる、この兩者は切つても切れない一つであるのだ。屈々、百萬長者はその財産の故に苦しくなり怖ろしくなり、終ひにはその財産から逃げ出すのだ！

映畫『街の灯』中に出てくる百萬長者は酔拂つてゐる時はチャイリーの親友である、そこでチャイリーは彼が正氣でゐるといつもひつぱり出すように仕向ける。

準放浪者とも言ふべき眞物のチャイリー・チャプリンがそのやうな百萬長者を識つてゐるかどうか私は知らぬ。だがもう一方の彼、即ち成長し、成功し自身百萬の富を持つに到つたチャイリーは漸くそのやうな百萬長者を識るに到つた、殊に彼が映畫『街の灯』の意企を捉へた時には――。

この兩者は互に必しも常に理解し合ふわけではない、彼等の交りは屢々壞はされる。にも拘らず百萬長者の何か味氣ない生活がこの浮浪者によつて愉快にされてゐなければならぬのだ。恰度、この映畫に於けるが如く、浮浪者の存在が、この永遠の放浪者の存在が百萬長者を自殺的憂鬱から救つたといふやうなことは往々にしてあり得るであらうから。

### チャイリーの職業

ありと總ゆる職業、殆ど職業と言はれないやうな職業までも浮浪者チャイリーが彼の初期の映畫の中でやつてきたのをわれわれは觀てゐる。或る時は消防夫であり、兵士であり、金鑛發掘者であり、或る時はサーカスの曲藝師であり、又或る時は巡禮であり、等々擧げきれない程だ。彼が未だ今日の如き折紙付の第一流藝術家とならない

頃の、即ち内的に深められたストーリーをものしなかつた頃の初期映畫は單純に「消防夫チャイリー」と言つた具合に稱びなされてゐた。彼の新映畫『街の灯』に於てはチャイリーは道路掃除夫、拳闘家、囚人と順々に變つてゆく。あの愉快な初期短篇諸映畫に於ては唯單純にあれやこれやあらゆる職業をやつたのであるが（彼が演つた職業を想起し給へ、そして腹を抱へて笑ひ給へ）『街の灯』に於てはこの水遠の巡禮者の最新の職業はそのロマンティックな感傷的な、而して社會的な意味を興へられてゐる。

今度のチャイリーは、單に道路掃除といふ職業をそれだけのものとして行ふために道路掃除夫であるのではない——彼は君や僕と同じやうに恐しく眞面目に働く、何となれば部室代を支拂はなければならぬから。

だがその部室代といふのが彼が借りてゐる部室の爲ではないのだ。彼は今や頗る眞面目になつてゐるとは言ふものゝ、有難いことには泊らうと思へば浮浪人の身輕さ記

念碑の被布の中で宿ることも出来る、こゝでは部室代など要りはしない。だが、あの盲目の少女の可哀想な（而も上品な）お祖母さんが支拂はなければならぬ部室代だけはどうかあつても何とか調達しなければならぬ。

ずつと以前の映畫でチャイリーは曾つて巡查であつたことがあるが（想ひ出したら噴き出さずには居られない）彼はその時、唯單に巡查であつたに過ぎない、それは彼に笑草を提供する。而してわれわれにも同じやうに。だが白い労働服を着た道路掃除夫としての今度は異ふ、彼は社會的壓迫の下に生活する、彼は失業したくない、失業すれば部室代を支拂ふことが出来なくなるからである。他の點は違ふとしても、實にこの點に於てこの地上に現存する他の總べての道路掃除夫に類似してゐる。

道路掃除夫チャイリーが一日の労働と汗に汚れた體を監督殿のチーズで洗ひ、監督殿には取り違へてパンの上に石鹼を載せる場面を見る時、私はあの支拂はなければならぬ部室代の事が氣遣はれて冷々させられる。今度のチャイリーは萬事からいつた

調子なのである。生活の真剣さが彼の上に襲ひかゝつて來てゐる、今度の彼の職業は最早唯一途に滑稽であらうとする以前の職業とは異つてゐる。

拳闘家としての彼の第二の職ではより一層深刻な悲劇的暗影がチャリーリーの職業の上に投ぜられる、道路掃除夫をやつてみたが結局盲目の少女の爲の部室代を獲られなかつたチャリーリーは最早どんな職でも敢て辭せないやうになる。部室代を稼ぐためには實に拳闘家たることさえも辭せないのである。これは前代の騎士達が彼等の戀人達のために戦の野に出陣したのに似通つてゐる。だが、彼等騎士達は逞しい筋肉を持つてゐるのを常とした、然るに今やリングに臨まんとして著物を脱いだチャリーリーはまことに世にも哀れな二本の腕を露はし、又これに應しい哀れな筋肉を見るではないか。

勿論こんなことではあの盲目の少女の優しいお祖母さんの爲の部室代は依然仲々獲

られさうにもない。

この拳闘家商賣すら受難の路の終點ではない、チャリーリーは終ひに今度は窃盜の嫌疑を受けるに到る。實際は反對に彼が泥棒を降參させたにも拘らず。——そして酔拂ひの百萬長者が彼に(といふのは、結局、間接に自由意思で盲目の少女に金員を與へたことになるのだが)與へたにも拘らず、その金員を盗んだといふ科によりチャリーリーは刑務所行の憂き目を見る。

チャプリンは屹度素晴らしい囚人描寫を映畫にとり入れたに違ひない、彼はシンシンの刑務所を訪ひ、そこで囚人達に映畫「街の灯」を映寫して觀せし、又事實彼は犯罪者、囚人に對して妙なからぬ關心を示してゐるから、嗚ぞや彼は早速彼一流の刑務所映畫を作るものと一般に希望されてゐるのは左もあるべきことだが、この映畫では結末を急ぐために、浮浪者チャリーリーの刑務所生活は大して多く現はれて來ない。然

し監獄といふものを獨自の姿で表現するといふ意味ではかなり成功してゐると言へよう。

浮浪者チャイリーは監獄へ曳かれてゆく途中葉巻を喫ふ。漸て恰度刑務所の門前に來たところで彼はその葉巻を棄て、頗る慣れた例の足恰好でもつて後方へ、生のあらゆる歡びが残されてゐる門外へ自由の天地へ蹴り返へす。

私は自身嘗つてシンシン刑務所を見學したことがある。その時私は映畫の寫された廣間も見た、私はチャイリー・チャップリンが、兄弟のやうな温い心を以つて（彼が貧しき者、不幸なる者、反逆する者に對して持つてゐるあの熱い同情の心を以つて）囚人達の間に坐つた光景をあり／＼と描くことが出来る。彼等がこの畫面を觀た時、獄門の外へ投げやられた葉巻を見た時、この哀れな惡魔達と雖も涙せる兩眼もてチャイリー・チャップリンを打ち見やつたことであらう。荆冠を戴ける基督の畫像！ 人間

的ならざるものは一切彼の知らぬところである。

### ハッピー・エンディング

實際に於ては、この映畫は人生といふものが大體左様であるやうに「エンディング」を持つてゐるのではない、唯中止するだけである。「ゴールド・ラッシュ」のラストシーンでわれわれはチャイリーが金持になり（それは信じ難いことだが喜ばしいことには違ひない）船上の人となつて世界漫遊の旅に出るのを觀た。又「サーカス」のラストシーンでは愁ひ氣に彼の愛慕する女を乗せ去つてゆく曲馬團の車を凝乎つと見送る彼を觀た。漸て彼は信じ難い程、だが忘れ難い程悲しい姿をして最後の畫面から消えてゆくのを觀た。それは恰も心傷めたるペンギン鳥のやうな恰好であつた。

チャイリー・チャップリンはこの新映畫のラストシーンで再び同じやうなことを繰り返たくなかつた、故にわれわれはこの新作品に於てはグロテスクな、又同時に又愁は

しいチャイリーの足の憊した最後の咏嘆的行進を見るのではなくして、唯チャイリーの  
 両眼の長い凝視を見るに過ぎない。だがこの凝視は充分に哀愁的なラストとなつて  
 ある。

チャイリー・チャプリンのグロテスク悲劇がこの映畫の結末程魂に喰入るやうな強  
 さを示したことはない。

X

X

浮浪者チャイリーの戀愛物語は總べて明らかに一種極めてさ末的な事件の複合であ  
 り、あの古い悲劇的道化役者のモチーフ『笑へ、道化！』(Lache Bajazzo)のザアリ  
 エーションである。

チャイリー・チャプリンが彼のナポレオン映畫の構想とした素材に於てさえも一種  
 の、これによく似たモチーフが主調を成してゐる。彼はナポレオンの狂詩を演じやう  
 と欲したのでもなく、又帝王の榮華とその没落を描かんとしたのででもない。アウスタ

リッツもワitelロも、又戴冠式も聖ヘレナもチャプリンが私に語つた彼のナポ  
 レオン映畫の素材には現はれて來ない。唯全然私生活的な、則ちジョセフィンとの結  
 婚生活の紛糾が取扱はれるのである——周知の如くジョセフィンは彼の晴れがましい  
 伊太利亞速征中さる副官と通じてナポレオンを裏切つたのであつた。

映畫界の奈王とも言ふべきあの偉大な、だが小柄のチャプリンが彼の二回の結婚生  
 活に於て殆ど幸福といふものを味ははなかつたことをわれわれは想起する。この奈王  
 映畫の素材は時恰も彼の二度目の妻リタが彼に持ち起したあの不愉快な離婚沙汰の最  
 中に思ひ立つたのであつた。

若し將來チャプリンがナポレオン映畫を作るとすればその映畫は恐らく報ひられ  
 なかつた戀愛を取扱ふであらう。餓えたる浮浪者に許りではなくナポレオン程の大人  
 物にも又百萬長者にさえも同じやうな運命が課せられるを人は見るであらう。

X

X

「街の灯」には報ひられなかつた戀愛のモチーフが疑ひもなく存在してゐる。チャブリンが一九二八年私にストーリーを語つた時、彼はさう言つたのであつた。而してチャリーはこの長い眼差しは確かにそのことを物語つてゐる。よし映畫がもう少し續いたとしてもブルジョア的な婚約の場面は愚か、抱擁すら現はれて來はしないだらう。

### 最後のメールヒエン

この乾枯らびたノイエザツハリツヒカイトの感傷なき時代に在つてわれわれのゼネレーションの愛すべき物語とは一體何であらうか？

それはミツキー・マウスの動物偶話映畫と、今一つはチャリー・マウス・チャブリンの人間偶話の映畫だ。

X

X

兩者の間にはちよつと觀たゞけで考へられるよりも、もつと密接な相似と關聯が存在してゐる。これは唯單にチャツブリンの戲畫チャリーがまことによくペンギン鳥に似通つてゐるとされた許りではない——この比較は私が手前勝手にやつたわけではない——チャリーは屢々實際に漫畫ミツキー・マウスや其の他の漫畫動物の間に伍して登場しても決して不調和を來たすようなことはないであらうからだ。これは間違ではない。例へば誰でもいゝ他の喜劇役者をミツキー映畫の中に入れてとし給へ、彼は畫面中を跳び廻る、だがそれは重々しい、殆ど様式化されない、不釣合な人間になつてしまふだらう。だがチャリーは、誰よりもメカニツクなリズムを持つてゐるチャリーはその儘他のメールヒエンの世界に於けると同じくミツキーマウスとびつたり適合するであらう。彼は自己を極度に様式化するが故に、彼は自己の體付から割出して戲畫的作品を作るが故に寫眞に撮られたといふよりも寧ろ筆でもつて描かれてゐるが如く見られるのである。それ故にどんな場合でも筆で描かれたミツキー映畫に登

場して更に可笑しくはないのである。即ち彼は他の多くの映畫俳優中に在つて獨りその體の中に非常に多くの音樂を持つて居り、それだからこそあの愉快なミツキー・シムフォニーの中に這入りこんでゐても更に不調和ではないのだ。

チャーリーは嘗つて私に言つたことがある「私は俳優としては決して喜劇的ではないのだ、だが監督としての私は私の周圍に喜劇的シチュエーションを積重ねる。而もそれ等の中に在つて私は何時も悲劇的なのだ！」

子供の遊びもこれと同じである、メーブルヒエンは凡べてこれと同じである。極めて素朴的な、滑稽な具合で眞面目なのだ。

メーブルヒエンや動物漫畫は勿論子供だけが味ひ得るものである、何となれば子供は不可能な前提を全く眞剣に受取る能力を持つてゐるから——。

幸ひなことにはこの唯物的な時代に在つても人間は矢張子供のやうな能力を持ち合

はせてゐる。チャーリーとミツキー・マウスの成功がそれを雄辯に物語つてゐるではないか。

だが子供らしさと言つてもそこには又、個人によつて、夫々社會層によつてその程度が各々異つてくる。最も子供らしいのは何と言つても矢張「民衆」である、名もない大衆である。廣汎な民衆層に受容られる藝術、それは常にその中にメーブルヒエン的諸要素を持つてゐなければならぬ、何となればそれは幼稚な人々にも話しかけねばならないものだからだ。

チャーリー・チャブリンの今日に於けるあのお伽噺のやうな成功は下から、即ち最も廣汎な社會層から來てゐるのだ。チャーリーが今日彼を讚嘆してゐる知識階級及び上層階級に於て民衆的道化とされてから未だ日は浅い、民衆的道化、プロ階級にとつてはそれがいゝのだ。大衆はチャーリーが彼等の仲間であり、彼が下層階級から來た



ことを直ちに理解した。彼の諸映畫はロシヤ映畫のように正面から大聲で説法するプロバガンダ映畫ではないが、依然彼は全身的に貧しき者の味方であることを物語つてゐる。

倫敦人にして世界に名をなした國民詩人は彼を以つて最初とするわけではない。チャールス・チャプリンはチャールス・ディッケンスの遺産である。ディッケンスが未だ生きて居たならば、恐らく彼はチャップリン映畫の爲のシナリオを書いたであらう、彼にならば恐らく安神してチャリリーはそれを許したであらう。チャプリン映畫にはディッケンス的人物が一再ならず新しく生かされてゐる。これはチャプリンがディッケンスを模倣したといふのでは更になく、唯同じ地域的、社會的雰囲気の中に彼が人と成つたからに外ならぬ。前者は或る辯護士の下に使はれてゐた書記でその一生を文學に捧げ、後者も亦同じく飯にも碌にありつけない兒供役者、而して又彼は

その一生を俳優として捧げるであらう、唯チャリリーの方はひどく有名になつたといふだけで兩者の差は極く僅かである。ブルジョア的な感傷的なビクトリア女王時代に人となつたディッケンスはチャリリーと同じようなタイプを描いてゐる、唯後者の周圍には勿論一層強い新時代の社會的動向の風が吹き荒んでゐるのが違ふだけだ。

彼はメーブルヒエンを語るのではない。彼自身がメーブルヒエンなのだ。

何故發聲映畫を作らないか？

“A Comedy-Romance in Pantomime”とチャリリーはこの映畫を名付けてゐる。それは讀んで字の如く無言劇型式によるロマンティック喜劇といふ意味である。既にタートルに豫防線が張つてある。觀方によつては辯解とも考へられよう。最近二、三年に亘つてチャップリンは彼の映畫が當然無言劇に據るべきであることを繰返し辯護し

て來てゐる。聖林映畫スターにして發聲映畫の侵入に對して反對したのは彼一人ではなかつた、然し唯最後まで降參しなかつたのは彼一人である。

ロシア映畫すら既に發聲映畫の製作を開始した今日、本來映畫藝術には唯百パーセント發聲映畫しかあり得ない——だが第二に百パーセントのチャイリー・チャブリン映畫がある。彼は今や彼獨自の一の全く偉大な藝術を持つに到つたのだ。

「街の灯」は事實發聲映畫ではなくて音響映畫である。チャイリーはこの新しい技術的能力をてんから問題にしなかつたわけではない、唯それは大して用ひなかつたのであり、その少部分と雖も明らかな輕蔑を以つて用ひられてゐるのである。伴奏がシンクロナイズされてゐるのはこの映畫にとつて自明の如く妥當である。唯筋の展開に於て現はれてくる音樂を再現するといふ點に關してはこの音響映畫を最少限に用ひてゐるに過ぎないのである。即ちファストシーンで音響映畫を皮肉に揶揄し第一あの嚙み込んだ紙笛の冗談的場面を演出する以外はこの大發明音響映畫も全く不要なのである。

る。これは眞に堂々たる輕蔑ではないか！

正直なところを言へばこの映畫にも發聲會話があつた方がより効果的であつたらうと考へられる場面がないわけではない。何となれば助演者の全部が全部チャイリーの如きバントマイムの天才ではないからだ。今日の如き發聲映畫時代に於て字幕などが現れるとわれわれの眼には奇異に映る。科白があつて欲しいと思はれるような場面も少なからずある。

チャイリーと一緒に現はれる場合は勿論發聲があつてはいけなすが百萬長者が彼の鼻高のバトラーに命令をするやうな場合聲高にやつた方が一層よかつたであらうと思はれる。だがチャイリーは別だ、彼だけはどうかあつても喋舌つてはいけなない。

シナリオ・ライターよ、皆集つて來給へ！ 諸君の中で勇氣のある者は胸に手をあ

て、神羅萬象に誓ひ給へ「俺ならばチャブリン映畫の爲のよきダイアログが書けよう」とね。

さあ、どうだらう、矢張誰もチャブリン映畫のやうに黙つてゐるのではなからうか！

× × ×  
發聲映畫、そして又第一流の映畫藝術チャブリンの無言劇、この兩者が並び存してゐるのはよろこばしいことではなからうか？ カルソに蛹れと注文するものは未だ一人もなかつた、バヴロヴァにアリアを歌へと注文した者もなかつた。だが決してカルソはバレーに對する反對者ではなかつたし、又バヴロヴァもオペラに對する反對者ではなかつた。チャブリンも亦このことを理解し、疑ひもなく將來を持つてゐる發聲映畫に對する逃避を止めんことを希望する。而して彼が「街の灯」映畫に於て用ひたやうに輕蔑的に堂々と發聲映畫を驅使するやう希望したい。

昭和七年五月十六日印  
昭和七年五月二十日發行

チャブリンをめぐるて

定價 三拾錢

著者 東京名映畫觀賞會  
右代表者 有賀長毅

發行者 株式會社時事新報社  
右代表者 稻垣平太郎

印刷者 前田宗松  
東京市神田區錦町三丁目二十五番地

印刷所 文成社  
東京市神田區錦町三丁目二十五番地

版權  
所有

發行所 東京麹町九ノ内 振替東京四三九九 時事新報社

終



三十錢